

起因物、事故の型：その他の起因物 - 動作の反動無理な動作の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	13～14	廃タイヤをトラックのパワーゲートを利用して荷台へ移動し、タイヤを重ねる作業（50本程度）をしていたが、右手中指に力が入らなくなった り腱が断裂してしまった	49	150102	1～9
1	12～13	利用者ベッド前で、杖歩行の利用者の付き添いをしていたときに、利用者が転倒しそうになったため、体を支えたところ腰を痛めた。	49	130201	100～299
1	6～7	ご利用者様の居室にて起床介助をしていた際に、ご利用者様が動かれ転倒されそうになったのを支えた結果、腰に激痛がはしり負傷した。	60	130109	10～29
1	13～14	同校の校長より、バスケットボールを通して、児童の休み時間を利用して、児童とのコミュニケーションを深めるよう指示があり、同校体育館でバスケットボールをして、ダンクシュートを行った際、着地でバランスを崩してしまい、受傷した。	38	120109	100～299
1	20～21	夜勤中、介護職として勤務する2階の病室において、ベッドの中の患者の位置を上部にずらそうと、1人で抱きかかえた時、急激に腰に重さがかかり、ギックリ腰と肉ばなれとなった。	59	130101	100～299
1	16～17	脱衣所にて入浴介助中、ご利用者様を入浴用椅子から車椅子に移乗の際、全介助にて抱えた時左側の腰に激痛を生じた。	48	130201	100～299
1	13～14	客室清掃において、ベッドメイクだけを10台ほど連続して行った際に、腕をのぼしたり、シーツを引っ張ったりという作業を続けて行ってしまったことにより、腕に負荷がかかり続けた状態となり受傷した。	53	150101	300～499
1	9～10	チルド庫内で洗浄済みバットを搬送中に通路の角で他の作業員とぶつかりそうになった為、避けようとして体を捻った際に腰を痛めた。	57	40303	—

1	14~ 15	病室にて、患者様を車イスからベットへ移乗させた時、患者様の強い拒否・抵抗があり、移乗する方向とは逆方向に引っ張られながら作業したために、急性腰痛、左股関節痛及び左肩関節痛が発生した。	50	130101	300~ 499
1	10~ 11	重度棟女子トイレで、女性ご利用者のトイレ誘導、介助を行っていたところ、だんだん腰に強い痛みを感じ、腰を伸ばそうと畳スペースで横になったところ、一人で起き上がれない状態になり、他職員に手伝って起こしてもらったあと、ゆっくりと歩くことはできた。	38	130201	30~ 49
1	8~9	降車時に乗客がタクシーから車椅子に移る際、足が不自由のため補助した際、被災者の体勢が悪く、左肩から音がし、違和感が生じ、その直後に左腕が動かなくなった（左肩上腕二頭筋損傷の疑い）。	69	40201	30~ 49
1	3~4	規制作業中、南西角の隊員①が第三者に気付いていなかった為、南東角の被災者が声を掛けに行った。規制線のバーを乗り越えた際に右足股関節辺りに痛みがあり、隊員①の所まで行くも歩けなくなった。北西角の隊員が近くにあった台車にのせ詰所に運び、病院へ搬送した。	64	170201	30~ 49
1	20~ 21	テニスのレッスン中に散らばったボールを集めようとした際、過って左足でボールを踏んでしまった。様子を見れば大丈夫だろうと考えていたが、後日、全治4週間程度の捻挫と判明した。	22	140309	10~ 29
1	10~ 11	施設内の利用者様の居室内において、ベット上でオムツ交換しているとき、交換を終えて左側臥位の状態で肌着等をあげようとしたとき、ぎっくり腰となり負傷した。	32	130201	100~ 299
1	16~ 17	荷造り用計量器の精度確認を行うため、ハンドパレット（MAX2000kg）で重り（510kg）を運搬する作業を行っていた。計量器に重りを載せた後、ハンドパレットを引き抜こうとしたときにパレットの一部に当たり引き出しにくかったが、力いっぱい引き抜いた。その拍子に左足を滑らせ、バランスを崩し転倒し、右足靭帯（くるぶしから甲）の損傷を負った。	49	10899	500~ 999
	13~	病室内にて、他スタッフ1名と、患者を浴室に移動させるため、ベット			100~

1	14	からストレッチャーに移乗しようと2人で持ち上げた際、腰から「ボキッ」と音がして、足に力が入らなくなりました。	26	130101	299
1	16~ 17	5階の居室トイレにて、ズボンの着脱介助中にバランスを崩し、右膝からボキッと音がし、右膝に痛みが出て力が入らなくなりました。	62	130201	30~ 49
1	19~ 20	施設内居室にて、利用者を車椅子からベッドに移床しようとしたとき、身体が下にずれていたため利用者の肩と臀部に手を入れ引き下げた際、右肩を痛めた。	60	170209	30~ 49
1	8~9	病院スタッフステーションにて、車椅子座位保持中の患者様（認知症）が姿勢を崩してずり落ちそうになっていたため、看護師2名で中腰になり持ち上げようとしたとき腰部に激痛がはしり、右下肢が痺れて一時立位不能となった。元々腰痛があるが、ベルトを使用しなくても良い程度のため使用していなかった。	26	130101	500~ 999
2	9~10	1番ホール180ヤード地点で、お客様のボールを探しに右側の林に行った。同僚プレーヤーも一緒に探していて、「ボールあった」との声に振り向いたところ、足をくじいてしまった。	41	140301	100~ 299
2	11~12	排泄介助のため、ベッド横のポータブルトイレへ移乗介助を行ったが、体の小さい方だったが重心を低くせずに行ってしまったために、腰を痛めてしまった。	44	130201	—
2	17~18	寿司製造（特に重労働はシャリ9kgを持って作業場へ運ぶ作業平日2回、火曜8回、土日5回）を1日8時間、月間160時間継続的に行い両手首に腱鞘炎を発症した。前月末より違和感があり、当月の恵方巻製造で特に同じ作業を行ったことで、痛みを感じ腫れた。（骨にも異常があるとの診断である。）	62	80201	300~ 499
2	10~11	衣装を装着しないリハーサルで、ウォーミングアップしていた時、靴下の状態で、音楽に合わせて前屈をしながら屈伸をするストレッチを2回ほど行い、足を伸ばした際に左膝の裏側からブチッという音がして痛みが発生した。（動きは特に勢いをつけたりすることなく、通常通りの力加減である。ウォーミングアッププログラムは約8分間で、開始より5分	28	140302	10000 ~

		ほど経過した際にこのような動きが盛り込まれている。))			
2	8~9	訪問介護サービスの提供のため利用者宅へ伺うと、居室で利用者様が椅子から滑落し床に長座位の状態でご居られた。声掛けをして椅子に座ることを介助しようと、利用者の正面に立ち、向き合っ肩を貸そうと前屈みになったところ、腰部にゴキッという音と共に激痛がしてその場に座り込み動けない状態となり負傷した。	48	130201	—
2	8~9	病室で患者のオムツ交換を行い、その後患者を右側臥位にし、病衣の背中側を整えるために裾を引っ張った瞬間、腰に強い痛みが発生した。	43	130101	—
2	9~10	患者病室内にて患者の体位を変える際、ベッド上仰臥位であった。患者の上半身を支えた時に腰椎を捻挫した。	43	130101	100~ 299
2	11~12	デイサービス室で配色配膳の補助をしている時に、左手側から歩いてくる人を避けるため腰をひねりながら作業を続け、その後も再び人を避けようとしてもう一度腰をひねった際に体のバランスを崩し転倒しそうになったところ、右手で体を支えようとして右肩関節と腰を打った。	68	130101	500~ 999
2	10~11	3F談話室にて急変した入居者様の蘇生処置を行った際に膝を床についた状態で作業をしていた為ひざが擦れ、その後、炎症を起こした。	47	130201	10~ 29
2	0~1	リハビリテーション内にて患者訓練中に右下肢に過重をかけた時からの痛みである。	23	130101	500~ 999
2	16~17	当社は建設資材の搬入代行を業務としているが、戸建新築現場に構造用木材の搬入作業中、搬入後何も持たないで戻る歩行中に砂利道で右足をひねり捻挫した。	56	50101	10~ 29
2	11~12	体育館で、体育指導をしている時、主で行っている先生のところに子どもが行ってしまいその子を抱きかかえて走り出した。腰をひねった状態で走り出したため、筋筋膜性腰椎症が発症し、その後の検査で腰椎椎間板ヘルニアを診断された。	23	120109	10~ 29
2	11~12	事業場内で商品搬入中に、重量7kg程度の電化製品を持ち上げたところ腰に痛みを感じた。	23	170209	30~ 49

2	15~16	事務所の机で仕事をしていて、椅子から立ち上がった時に背中合わせで座っていた職員も急に立ち上がった為、ぶつかりそうになり、その時に、転倒しそうになり、左足に力を入れて踏んばった際、左足首に鋭い痛みが走り、動くことが出来なくなり、左足に力が入らなく、歩けなくなった。最初に受診した病院で筋膜炎と診断され、湿布と痛み止めを処方され、痛みがある中、仕事をしてしたが、3ヶ月経っても良くならないので、他の病院で受診したところ、アキレス腱断裂と診断され手術することになった。	69	130201	50~ 99
2	8~9	デイサービスの利用者（女性・91歳・38kg）を迎えに行き、廊下で転倒していた利用者を、座位させ、立位をとって頂こうとした時に、腰に痛みを感じた。	27	130201	—
2	10~11	法人施設3階トイレで利用者（女性、78歳、介護度4、体重約50kg）をポータブル便器から職員2人で前後（本人が前）から抱きかかえた時に腰に鈍い音がし激痛がはした。	40	130201	100~ 299
2	6~7	男性利用者居室で離床介助を行った際、右麻痺の方で、ベッドレールを持って立位をとって頂こうとした時、一度立位をとられたがふらつき右に大きく傾いたためとっさに右腕で支えた。その時右肩に強い痛みがはした。ベッドの高さは立位のとり易いようにあらかじめ上げていた。	46	130201	50~ 99
2	12~13	当日、脱衣室で、車イスからベッドへ移乗介助し、ベッド上で利用者の身体を上をスライドさせた時、腰に電気がはしたような感じがした。その後、違和感と腰を屈めた時の痛みはあったが、定時まで就業する。ベッドの高さ53cm、利用者身長155cm、職員身長168cm 翌日、入浴介助後に、自分の足を洗い椅子から立ち上がろうとした時、腰の痛みがひどく、その後は足を引きずりながら歩く状態であった。腰痛のため前屈みになれず、服を着替えるのも難しい状況になり、病院を受診する。	48	130201	50~ 99
2	16~17	部屋の床に臥床されている方を看護師2名で（上半身側と下半身側のうち、本人は下半身側を支えて）車椅子に移乗介助した時、左胸部で音が	47	130201	50~

		して鈍痛が出現した。			99
2	6~7	ご利用者様の居室に訪室し、ベッドから車椅子へ移乗する際、右脇腹を痛めたものである。	24	130201	50~ 99
2	16~17	急勾配の屋根の上で、長時間古瓦の撤去作業の為登り降りを繰り返し作業していたところ、足・腰に痛みが生じて立つ事も困難になった。	65	30202	1~9
2	15~16	脱走を繰り返す利用者を、ケアホームの玄関で止めようとした時に背中辺りの服を後ろから右手を伸ばして掴んで無理やり止めた時に、凄い衝撃が伝わってきて、ドアにもぶつかって、左側の首・肩・腕に激痛が出た。とても業務が出来る状態ではなく、すぐ病院を受診した。	34	130201	30~ 49
2	17~18	ケアハウス入居者居室にて、通常は歩行している体重40kg程度の入居者が転倒していた。床から自力で立ち上がるのが不能なため、被災者が両手で抱え上げベッドに移行してもらう。その際、左臀部から爪先に掛けて痛みと腰痛が出現した。数日間様子を見ていたが痛みが治まらないため病院を受診し、椎間板ヘルニアとの診断を受け、手術となる。なお業務の影響で約2年ほど前から腰~左臀部~左爪先にかけての痛みが時々あった。	39	130201	30~ 49
2	9~10	利用者様のトイレ介助時に、利用者様の背後で自分の左膝の上に利用者様のお尻を乗せ、ズボンを上げようとしていた時にいきなり全体重が左膝にかかりバランスを保てず左腰を痛めたものである。	22	130201	50~ 99
2	3~4	当該乗務員とおお客様との間にトラブルがあった。そのため当該乗務員と共にお客様のアパートに謝罪に行った。その際、当該乗務員がおお客様から腕を引っ張られた。	51	40201	30~ 49
2	6~7	日々の業務の中で業務中に、何度も重たい物を持ったり運んだりする作業が多く、足や腰などに負担がかかるのが積み重なり、足の靭帯損傷、腱鞘炎につながり、治療を受けることになった。	39	80209	10~ 29
		2Fバックルーム婦人衣料作業場にて、プラスチックケースに入っている商品を乗せかえようとした際、持ち上げられると思って中腰でケースを			100~

3	9~10	持ち上げたところ腰がぬけたような感じがし、そのケースを持ち上げられなくなり痛みがはした。	37	80201	299
3	18~19	全身に衣装を装着し、全5回のうち4回目のステージショーに出演中、「客席からステージに向かって階段を上がり、キャラクターボイスに合わせてセリフを言った直後、移動しながら決まったタイミングで手を挙げ、両足でジャンプ（約20cm）する」振りで、両足での着地時に右ふくらはぎに痛みが発生した。その後、動きを軽減し出演を継続したが、最後のシーンで足を引きずるほど悪化し、講演終了後すぐにアイシングを実施した。5回目公演は、代役を立てて出演をカットし、自力での帰宅が困難だったため、タクシーで帰宅した。	43	140302	10000 ~
3	11~12	事務所置場にて場内整備作業中、ブロックを移動するためにブロックを繋いでいる杭を引っ張り、取れた反動でよろけ、地面にあった窪みに足がとられ左足首を捻った。	71	30199	50~ 99
3	19~20	衣装を着用しないステージショーのリハーサルで右に移動しながら両手を上げ、左足でジャンプする振りで、左足で踏み込んだ際、左ふくらはぎに痛みが発生した。それまで4年間在籍していたステージでは、5cmのヒール靴で2.7度の傾斜のあるステージで踊っていた。現在のステージでのリハーサルが開始となり、フラットなステージでヒールなしでの踊りは、環境に慣れておらず、ふくらはぎに通常以上の負荷がかかった。	33	140302	10000 ~
3	8~9	施設居室内トイレにて車イスのご利用者様をトイレへ誘導し、車イスから便座へ移乗する際に手首に負担がかかり痛めた。	43	130201	100~ 299
3	16~17	当施設内において、利用者のトイレ介助を行おうと車椅子から便座に移動させようと立ち上がらせた際、利用者の立位が安定されなかったため、抱きかかえたまま下へ倒れ込み、尻を床に打ちつけた。	36	130201	100~ 299
3	16~17	会社の資材置場にて、丸太の整理のため、直径15cm程度の丸太を転がらないように左手で支えながら、チェーンソーで切断していたところ、切	34	130201	10~

		断完了時に丸太を支えていた左腕に重さがかかり、体のバランスを崩し、左前腕がチェーンソーの刃にあたり怪我をした。			29
3	15~16	当社がその運営をしている保育室において当施設所属の当社職員が、保育室でおやつの時間に0才児の子どもを抱っこして、テーブル付きのイスに座らせようとしたところ腰に痛みを感じ、そのまま動けなくなった。そのあと痛みを感じながら保育を続けたが、腰に激痛がはしり、ぎっくり腰を発症した。	30	130201	1000 ~ 9999
3	12~13	職場のマッサージルームの施術を行うブース内で、マッサージ利用者が施術ベットにうつぶせになり、利用者の頭側に立ち肩背部をマッサージ施術をしている状況で、左手関節から左手首および左手肘にかけて強い痛みを感じ、骨がミシミシ鳴った。	41	170209	100~ 299
3	17~18	食堂にて入居者の食事介助を行ったあと、立ち上がりその場を離れようとした際、右膝内側を入居者が乗っていた車椅子のアームサポート及びハンドリムに打ちつけてしまい被災した。	36	130201	100~ 299
3	18~19	居室にて入居者の着替えを行った後、ベッドに移譲させようとしたが、入居者が不穏気味だったため、注意深く対応していたが、突然暴れたため、怪我をさせないよう無理な姿勢で支えた際、腰に急激な負担が掛かり、痛みで動けなくなった。	57	130201	30~ 49
3	17~18	利用者居室内で、寝たきりの利用者（要介護4）の排泄介助終了後に体位変換をしたとき、腰部に強い痛みが発生した。オムツ交換をしている時に腰に激痛があり、痛みが止まらなかった。	33	130201	500~ 999
3	15~16	トイレにて、利用者を車いすからトイレに移動するときに突然、利用者が膝折れし、咄嗟に支えたので尻もちをつかずに済んだが、その咄嗟の動作で腰に激痛がはしった。	47	130201	100~ 299
3	18~19	施設3階のトイレで利用者の排泄介助を行っていた際、一緒に介助していた同僚の介護職員が、利用者の尻のマッサージを行いやすくするため、利用者を抱き抱え尻を浮かせた際、腰部に痛みを覚えた。	25	130201	50~ 99

3	23~24	車の修理工場をLED証明の交換作業の立ち合い中に、シャッターとシャッターの間にある支柱（3300×10×8、10kg程度）の取り付け・取り外しを行っていた途中で、腰に強い痛みが感じられた。	28	80109	10~ 29
3	18~19	お客様の髪を切る際、左手で髪をはさみ上下に動かすため左手首をよく使い、シャンプーをする際も左手で頭を支えるため左手首を酷使用する作業を続けていた。そのような状況が続き、左手首に痛みを感じ、徐々に痛みがひどくなり握力が入らなくなり、腫れてきた。	57	80302	1~9
3	9~10	体重36.8kgの患者を4F病室のベッドで上向きに寝かせているところ、体交のため横から抱えて横向きにしようとしたとき、腰がピキッとなった。	44	130101	100~ 299
3	6~7	病院内の自然分娩室での分娩後、患者の出血が多かったため、別室の分娩室の分娩台へ患者を移動させようとした。スタッフ4人でシーツを担架にして移動させる際、座った姿勢の状態から患者を持ち上げる形で移動させるとき、腰痛が出現し、左下肢にしびれを感じるようになった。	33	130101	500~ 999
3	10~11	利用者居室にてシーツ交換時、車イスに移ってもらうために起こす際にゆっくりして欲しいとの要望があったため、できるだけゆっくりと介助を行っている時、急に脇腹に強い痛みを感じた。	67	130201	50~ 99
3	11~12	事業所内にて利用者のトイレ介助をしていた時に、利用者がふらつき寄りかかるような体勢になった際、左足で踏ん張ったがしゃがみ込んでしまい、立った時に左膝に痛みを感じた。	52	130201	10~ 29
3	11~12	施術ルーム内でエレクトロハンドの機器を使用中、ベッドでうつ伏せのお客様の身体をマッサージしていたところ、中腰の姿勢で、腰部分を集中してマッサージした後に身体を移動し、体勢を変えた時に腰に激しい痛みを感じ、力が入りにくくなった後、左臀部から足指先に痺れが出てきた。	35	80302	10~ 29
3	11~12	利用者居室にて、ベッドから車いすへ移乗しようと利用者（身長150cm・体重62kg）にベッドの端に座ってもらい、利用者の両脇に両腕を差し込み、背中に両手を当て利用者の胸に左肩を当て立たせようと	47	130201	100~

		した時、左側にバランスを崩したため左足で踏んばり、体の左側に力を込めて支えようとしたところ、腰と首を痛めた。			299
3	9~10	介護老人保健施設に勤務する当該職員は、施設内に於いて利用者の居室案内をしていた。利用者が車椅子からベッドに上がり横になる際、足が上手く上がらなかった為、介助する際に中腰になり、右手で足を下から支えて上げたとき、腰を捻り痛めた。	33	130201	50~ 99
3	11~12	サービス付き高齢者向け住宅にて、入居者様を入浴介助のためにストレッチャーに移乗する際、利用者様が激しく動きバランスを崩し、被災者の右腕に負荷がかかり受傷し、右腕が上がらなくなる。尚、この介助は2人介助にて行っていた。	58	130201	50~ 99
3	11~12	当施設入居者様の居室にて、車イスからベッドへの入居者様移乗時にバランスを崩し、腰を痛めてしまった。電動の昇降装置が故障しており、誘導についたリーダーと本人で手動にて試みたが、正常に作動せず、そのままの位置で移乗する様に誘導を行った。	34	130201	30~ 49
3	11~12	リネン室でスチール製の丸椅子を踏み台にして、棚の上段に衣類を片付ける作業をしていた。作業終了後、丸椅子から降りる際、靴を履こうと右足を靴の上に置いたところ、踏み外し受傷した。	63	130101	300~ 499
3	16~17	認知症の施設利用者をお見送りする際、その利用者が急に後ろからおぶさってこられたので、転倒しないように踏ん張ったが、それ以降、背中に強い痛みがはしるようになった。	55	130201	30~ 49
3	18~19	店内のフィッティングルーム前でお客様にフィッティングの応対中、方向を変えようとした際にバランスを崩し、足を滑らせ転倒しそうになり、右膝を負傷した。	27	80209	1~9
3	8~9	人参トンネルにて、人参の抜き取り作業をしていたところ、人参の周辺に生えていた雑草も抜こうと思い、左右に体を捻りながら抜いていたとき、腰を強く捻ってしまい、ぎっくり腰になってしまった。	65	60101	1~9
		第2作業場で生姜つゆの入ったカゴ（15kg位）を作業台に載せる際、			30~

3	11~12	誤って腰を負傷した。	23	10102	49
3	11~12	当院内2階病棟浴室脱衣所にて患者入浴介助途中、機械浴入浴後シャワーチェアに座っている男性患者を更衣用ベットに移乗し、オムツ、ズボンをはかせようと介助している時に患者が抵抗した為、無理な姿勢で着用させていたところ腰に痛みと違和感を感じた。	35	130101	100~ 299
3	2~3	入居者様よりナースコールの呼び出しがあり、ベッド横に転倒されており、ベッドへ移乗させる際、膝をつき持ちあげようとした時、中腰になり腰をひねった。	65	130201	10~ 29
3	14~15	3階廊下で、利用者を食堂へ案内していたとき、利用者が自分でついていた杖に足を引っ掛け前方へ倒れそうになった。それを支えようとしたとき、利用者が介助者の左手首をつかんだ際、ひねって受傷した。	36	130201	50~ 99
3	15~16	数日前より足に疲れがあり、その状態で業務を続行した。後日、バイクで開栓業務のため移動中、バイクから下車しようと足をついたとき、激痛がはしった。その後、我慢しながら出社したが歩行困難となった。	63	170209	30~ 49
3	9~10	利用者居室にて、中腰状態でオムツ交換中、利用者の体交を行った際に腰と左足に痛みを感じ、身体を元に戻そうとするも動けない状態となり、そのあと痛みが持続した。	63	130201	30~ 49
3	13~14	店舗内で接客を行っていた際、40cm程度の高さの座敷から下りるとき、床に足を着くつもりがスリッパを踏んでしまい、足の指が変な方向に曲がり骨折した。	56	140201	1~9
3	16~17	食堂兼機能訓練室の畳スペースにいる入所者を二人ペアで車椅子へ移乗させていた時、右腰から音がし、痛みを覚え、作業を中止した。（以前から腰痛があったがヘルニアではない）。帰宅後、痛み止めを飲み安静にしていたが、翌日の勤務中に痛みが増して歩けなくなり、腰椎捻挫、外傷性下肢抹消（性）神経障害性疼痛と診断された。	41	130201	100~ 299
		パチンコ台倉庫にて、パチンコ台の搬入作業をする際、トラックから台			

4	9～ 10	倉庫にパチンコ台を搬入するため、荷台（高さ1m50cm）からパチンコ台（40kg）を持ち上げ、床に降ろす途中、左側の背中を負傷する（胸椎捻挫、背部筋肉痛）。	31	140309	50～ 99
4	16～ 17	310トリーター設備の巻出しにある直径300mm、長さ1,350mm、重量約35kgのFRP管をクレーンで移動後、製品台車近くの床に仮置きしたFRP管を、屋内クレーンを使用すると時間がかかるので、一人で手で持ち上げようとして低く屈んで踏ん張ったところ、急性腰痛症になった。	41	11109	100～ 299
4	9～ 10	患者病室にて、両上下肢の硬さ（屈曲拘縮）があり、更衣が困難な患者に清拭、更衣を介護士と職員2名で行っていた時に、更衣の途中で激しい腰痛を感じ、体動困難となった。	53	130101	500～ 999
4	10～ 11	施設利用者と散歩に出た際、利用者が地面に寝そべってしまったため、起こそうとして手を4～5回引っ張ったとき、腰に不安を感じた。その後、別の利用者が散歩から帰ってきた際に建物に入りたがらず、外に走って出ようとし、別の職員が引き留めようとしていたので手伝えるため利用者を止めようとしたとき、腰に痛みを感じた。	40	130201	300～ 499
4	9～ 10	マンション裏手の土手で草むしり作業をする際、長時間無理な姿勢をとり続けて腰を痛めた。	67	80409	300～ 499
4	14～ 15	2階浴室に於いて、男性入居者（大柄で立位不安定）の入浴介助中、入浴を終えた入居者が浴室出口の方へ体の向きを変えようとした際、急にしゃがみ込む様に腰を落とした為、とっさに左手で臀部を支えて体を引き上げようとした際、左肩を痛めた。	55	130201	10～ 29
4	11～ 12	衣装を着用しパレードに出演中、「右足を軸に右回転し左足重心でポーズをとる振り」で、右足を軸に勢いよく回転し、左足重心でポーズを取った際、左足太ももからふくらはぎにかけ強い痛みが発生した。発生後、左足に体重がかけられない程の痛みがあった為、振りを軽減し、最後まで出演した。公演終了後、足を引きずって歩行する状態だった。	28	140302	10000 ～
		全身に衣装を装着し、ステージショーに出演中の着替えで、衣装のレギ			

4	12～ 13	ンスを立った状態で脱ぎながら前屈みに約45度腰を曲げた際、腰に痛みが発生した。	21	140302	10000 ～
4	14～ 15	施設3階、左肢欠損している利用者の個室でトランス介助をしようとした際、不安定なバランスとなり、自身で足をひねった感覚があった。徐々に右膝が痛み始めて、ひねる、曲げる等の動きができない状態となり、後日に右膝関節の捻挫、右膝外側半月板損傷の疑いありと診断された。	30	170101	10～ 29
4	8～9	利用者様宅で体位交換をしようとしたところ、利用者の体を動かそうとしたときに体勢を崩してしまい、腰に激しい痛みを感じ、動けなくなってしまった。	48	130201	30～ 49
4	10～ 11	有料老人ホームに派遣労働者として勤務中、老人ホームの居室にて、入居者をベッドから車椅子へ移乗しようとしていた。ベッドの高さ調整を行ったあと、車椅子へ移乗を行った際に腰部と股関節に違和感を感じた。しかし、そのまま業務を続け、別の居室で別の入居者をベッドから車椅子へ移乗したところ、強い痛みになり、その後も痛みが続いた。昼食前の時間帯であり、移動動作を急いでしまった事が原因と考えられる。	56	170209	30～ 49
4	14～ 15	左肢欠損している利用者の個室でトランス介助をしようとした際、不安定なバランスとなり、自身で足をひねった感覚があった。勤務後から徐々に右膝が痛み始めて、ひねる曲げる等の動きができない状態となり、右膝関節捻挫、右膝外側半月板損傷の疑いありと診断された。	30	130201	50～ 99
4	11～ 12	入居者居室にて車イスからベットへの移乗介助時に、入居者を抱えた際に痛みがあり、ベットへ移乗し臥床させた瞬間に激痛が走った。	34	130201	—
4	6～7	倉庫1Fの荷捌場にてフォークリフトを停車して右側から下車する際に、バランスを崩して右足に体重が乗ってしまい、足をくじいて転んでしまった。元々、左足に障害を抱えており、普段も右側から降りる事が多いのだが、この日は業務が終了し早く帰ろうと急いで下車してしまい	48	170209	1～9

		バランスを崩した。			
4	10～ 11	事業場の担当する1Fフロアトイレにて、入所者の更衣介助中、更衣介助は2名で行っており、被災労働者が入所者を立たせ、（両脇に腕を入れ、持ち上げる）相勤者が入所者の下衣を降ろしている際に、腰に強い痛みを感じる。すぐに入所者をトイレに座らせたが、その後も痛みが取れずその日は腰に負担の少ない業務に従事した。入所者は54kgの男性で、左側に麻痺があり、自立での立位がとれない為に二人介助を行っていた。	44	130201	50～ 99
4	14～ 15	構内で車の清掃作業中に運転席側のマットをめくり、フロアの右隅を右手首を曲げて掃除機をかけていた時に、手首をひねった感じになり、ぎくっとなった。痛みを感じていたが、段々と痛みがひどくなり、車のキーを普通に回すことができないほどになった。	48	80202	10～ 29
4	11～ 12	利用者様宅に於いて訪問入浴作業時利用者様がトイレにおられ自力では入浴部屋へ移動が不可能な為私が抱えるような体勢で移動しようとしたところ私自身の体勢を整えられていないまま無理矢理移動し、腰に痛みを感じた。	24	130201	10～ 29
4	11～ 12	デイサービスにて、水圧ベッドで横になっているご利用者様を起こそうと、先輩社員の指示を受けながら、首と腰の下に手を入れて起こそうとしたがうまくできず、その後何度か挑戦したが起こすことができなかった。介助中に痛みは感じていたが、後日に肩があがりにくくなった。	22	130201	10～ 29
4	14～ 15	展示場にて車両のタイヤ交換作業中（タイヤ重量が重い）、重量タイヤ交換作業中に背中を捻り痛める。	61	11509	1～9
4	13～ 14	荷卸先にて手卸し作業中、急に右足ふくらはぎに激痛が走り、時間が経つにつれて腫れと痛みが増し、歩く事ができなくなった。	52	40301	30～ 49
4	8～9	5階フロアの入居者の居室（個室）にて、職員2名で布団に寝ていた入居者を車椅子に移乗介助を行おうと、まず入居者を長座位に座らせて、男性職員が入居者の前から抱え受傷者が入居者のうしろから、押し上げる動作を行っているとき、受傷者の踏ん張っている左足がちょうど布団の	47	130201	100～ 299

		下のマットのヘリの位置にあったため、左足が滑って足首をひねり、左足首を骨折した。			
4	9～ 10	デイサービスの送迎中に、車から降りた際に一人で足をひねり骨折した。	29	130201	50～ 99
4	5～6	夜勤勤務中入居者様を車イスに移乗させる動作をしている最中に、急激に腰に痛みが発生し、そのあと業務ができなくなった。	51	130201	100～ 299
4	13～ 14	スクールバスから身体の不自由な児童を抱えて降車する際に、ステップ上にてバランスを崩し、抱えていた児童を落とさないように庇うため、左膝で受け止めたところ児童の体重が膝にかかり負傷した。	57	40202	100～ 299
4	18～ 19	入居者のベッドの上でずれた体をベッド上に上げる補正をしていた時に、前屈姿勢で前かがみの姿勢をとっていたため肋骨を骨折した。	55	130201	50～ 99
4	7～8	施設居室内でベッドから車イスへの移乗介助中、腰をひねった際にグキッという音と共にするどい痛みを感じ、車イスの前にくずれ落ちた。	76	130201	100～ 299
4	7～8	病室内にあるポータブルトイレを患者さんが使用され、Pトイレからベッドへ移動するのを介助していた。その際、患者さんの足に力が入らず、Pトイレに座った状態で前方へ倒れてきた。患者さんの正面で中腰の状態での介助していた為、患者さんが上から覆い被さる形となり下敷きになった。	66	130101	100～ 299
4	17～ 18	利用者居室で離床動作介助中、上半身を起こすため背中に手を添えた状態で、起きる事を拒否されて不意にベッドの方へ倒れる様に力を入れられた時、左腰にギクッと痛みを感じ歩行できなくなった。	52	130201	50～ 99
4	11～ 12	走ってきた園児を抱き上げようとした際に、園児の動きに対応できず右手中指を脱臼した。	57	120109	1～9
4	11～ 12	院内トランクルームにて、被災者（身長159cm）が立ったまま作業台（高さ76cm）で患者様のおむつの袋に名前を書く際に、おむつの袋を右側に落としてしまい、とっさに拾おうと上半身のみを右側にひねったときに右肩に激痛がはした。	37	130101	100～ 299

4	6～7	ショートステイの利用者居室で、起床介助し、食堂へ移動するため、ベッドから車イスへ移乗中に、利用者は右足にマヒがあるが以前は左足で自分を支えられていたので移動・移乗もしやすかったが、機能低下した為介助者の移動・移乗がしづらく、全介助にて行うようになった状況で利用者を持ち上げて、車イスに移乗する途中で腰からグシャというような音があった。利用者を車イスに座って頂いた後、痛みが強くなった。	62	130201	100～ 299
4	10～ 11	入居者様のオムツ交換時、排便があった為、ベッドをジャッキアップ（腰の位置まで）し、陰部臀部洗浄中に突然右側腰に激痛が生じた。そのまま動けなくなったが、オムツ交換を続けようとするも痛みが強くなり、座り込み動けなくなった。	43	130201	30～ 49
5	10～ 11	当社工場にて野菜の洗浄作業中、右手にザルを持ってシンクの中から野菜をすくい取っていた際、右手親指の付け根に痛みを感じた。痛みがひどくなかったため様子を見ていたが、腫れがひどくなった。	53	10109	100～ 299
5	17～ 18	利用者の居室にて、ベッドに横になっている利用者を起き上がらせようとした際に、利用者が手を被災者の首に回し、体重をかけられてしまい被災した。	44	130201	30～ 49
5	11～ 12	トナーカートリッジ組立工程で、製品（トナーカートリッジ本体）に小部品を治具（ハンドプレス）で圧入する作業中に、製品と小部品を治具にセットし、右手で製品を支え、左手でハンドプレスのレバーを引くと、製品の上の面を治具が下方に加圧して小部品が圧入される。その際、誤って治具にセットした製品の上の面を右手で支えてしまった為、左手でレバーを引いた時、治具と製品の間で右手人差し指を挟んだ。	25	130201	50～ 99
5	11～ 12	トナーの機械に部品をはめようと機械下部にあるレバーを左手で引きながら右手で上部を押さえこんだところ、右手人差し指を機械に挟み受傷した。	25	170101	500～ 999
		全身に衣装を装着し、全3回のうちの1回目の出演中、台詞の終わりに、「前屈みし顎を引いた状態から、上を見るように、首と腰を反らせた」			

5	16～ 17	際、腰に痛みが発生した。その後、振りを軽減し最後まで出演したが、1回目公演後に早退した。帰宅後に痛みが悪化し、歩行困難な状況となった。	34	140302	10000 ～
5	9～ 10	全身に衣装を装着し、ステージショーに出演中、首を左右に2回振る内の1回目に左を向いた時、左側に座っている出演者と、目を合わせようと通常の動きで左下に頭部を傾けた際、右肩甲骨から首にかけピキッと引っ張られた感覚が発生した。痛みはなかったので、アイシングを行い、出演を継続した。（違和感や悪化なし）後日起床したところ、首に痛みが発生した。	25	140302	10000 ～
5	19～ 20	施設利用者の居室にて、終身介助の為、利用者を車椅子から床に移乗する際、腰を痛めてしまい、施設移動中に痛みが悪化した。	44	130201	50～ 99
5	12～ 13	入居者様を車椅子からベッドへ移乗する際に負傷した。片麻痺がある体格の大きい入居者様だったので、気を付けながら移乗していたが、無意識に右側に力が入っていたようで負傷してしまった。	36	130201	—
5	15～ 16	患者様のオムツを交換後、車椅子に移行する際に力を入れ、腰に痛みが走り、歩くのも困難になった。	27	130101	300～ 499
5	5～6	ラベル貼りの作業を1日従事しており右手甲の部分が腫れた。4日ぶりの作業で腕が腫れて、最初は筋肉痛だと思ったが腫れと痛みが引かない為、本人より連絡があった。	42	170101	500～ 999
5	14～ 15	事業場入居者居室内ベッドサイドにおいて、ベッドから車椅子へ移乗介護を行うため、入居者を抱えて立ち上がった際に腰がバキッと鳴り、激しい痛みが走った。	44	130201	50～ 99
5	11～ 12	納品先で、キャンピングカーのドアを納品するため運搬作業をしている時に、キャンピングカーのドアによって、運搬時にバランスを崩して支えようと不自然な姿勢になったことで、腰に激痛が生じてしまった。	43	80109	10～ 29
5	11～ 12	利用者居室内にて起床時、ベッドから車椅子に移乗した際にいつもより重いような違和感を左背部に感じ、その後入浴介助中に激痛が走った。	46	170101	300～ 499

5	9～ 10	訪問入浴介護サービスにて、お客様を浴槽からベッドへ戻すために抱えた際、腰部に痛みが生じ、痛みが悪化していった。	24	130201	30～ 49
5	7～8	介護施設にて業務中、ご入居様の起床介助の際に腰を痛めた。施設内居室において、男性で介護度5・体重90kg位で水頭症ありのご入居者様を2人介助で別スタッフが下半身を抱え、当該スタッフが上半身を抱えベッドからリクライニングに移乗中に腰に激痛が走った。	51	130201	10～ 29
5	15～ 16	利用者の居室にて、利用者を車椅子からベッドへ移乗している際、ベッドに寝かせる作業で膝固定をしていたが、上手く自身の膝が外れずに利用者の体重がのしかかってしまい、肋骨の辺りに痛み、違和感を感じた。当日には痛みは強くなかったが、翌日に痛みが増し、骨折となった。	56	130201	100～ 299
5	14～ 15	介護施設内の入居者の部屋にて介助中、寝ている状態から体を起こし、ベッドから車椅子へ移動する動作（右側→左側へ）の時、入居者の方の全体重を支えきれず、圧力が腰部にかかり、捻って腰椎を骨折した。	53	170101	100～ 299
5	14～ 15	介護施設内の入居者の部屋にて介助中、寝ている状態から体を起こし、ベッドから車椅子へ移動する動作（右側→左側へ）の時、入居者の方の全体重を支えきれず、圧力が腰部にかかり、捻って腰椎を骨折した。	53	130201	50～ 99
5	6～7	居室内で入居者様をベッドから卓椅子へ移動しようと介助をした際、入居者様を抱えた時に膝に痛みを感じた。	38	130201	50～ 99
5	10～ 11	病棟患者様浴室で入浴介助中、車椅子の患者様移動時、よろけた患者様を保持した際に右膝を捻った。一時激痛が出現したが、そのまま入浴介助を続けたところ、痛みで通常歩行も困難となった。	61	130101	100～ 299
5	15～ 16	当施設の居室でおむつ交換後、おやつを差し上げる為に離床、車椅子への移乗を行っていた時、左ももの付け根の辺りを痛めた。介助する入居者様は、特に体格の大きい方ではないが、ご自身の脇や足に力が入ってしまい、体を突っ張ってしまう方である。ベッドの端に腰掛けて頂き、脇から手を入れ体を持ち上げた時に、入居者様が体を後方に反り返してしまい、それを支えようとして無理な姿勢になってしまった。そ	26	130201	50～ 99

		の時に、左ももの付け根と膝に痛みを感じたが当日はそのまま、最後まで勤務した。			
5	14～ 15	当法人の院内（クリニック）の透析室にて、患者を車イスからベッドに移乗した際、腰部に強い痛みがあった。立っている間は痛みが少ないため業務を続けていたが、座ったときに痛みが酷くなり、腰椎骨折と判明した。	48	130101	100～ 299
5	8～9	利用者宅で、手動車椅子から電動車椅子に移乗するため利用者を抱きかかえた時、突然左ふくらはぎに激痛がはしり、立つことができなくなった。	40	130201	100～ 299
5	13～ 14	利用者宅で車椅子からトイレへ移乗する際、利用者の下肢に力が入らず、正座するような体位になる。再度車椅子に移乗する際、利用者を抱き上げ腰に痛みが走る。数ヶ月経っても痛みが治まらず、第3腰椎圧迫骨折となった。	67	130201	10～ 29
5	7～8	病室にて、患者様をベッドより車椅子へ移乗補助中、患者様を抱えた際に腰に痛みと違和感が出た。	60	130101	300～ 499
5	21～ 22	ラーメン店の営業中に酔った客が代金の支払いをせずに帰ろうとしたため、追いかけて逃げないように客のベルトを掴み、店まで戻ったが客が暴れたため、警察官が現場に到着するまで必死でベルトを掴んでいる状態が暫く続き、警察官の到着後にベルトを放した10分後頃から肩に激痛を感じ、手を上げることができない状態になった。	50	140201	10～ 29
5	7～8	4階食堂にて、入居者を椅子にしっかり座らせようと抱えた際、腰に違和感を覚え、次第に立てなくなった（圧迫骨折）。	72	130201	10～ 29
5	17～ 18	救護施設に勤務する当該職員は、施設内静養室において、脳出血のため意識の無い利用者を職員2名体制で車椅子からベッドへ移乗していた。その際、利用者の頭部側で支援していた被災者が利用者の両脇を抱えきれず、自身の腕と脚が伸びた状態のまま、腰に負担が掛かり座り込む格好となり負傷した。	40	130201	50～ 99

5	16～ 17	就労場所である施設内にて、通所介助の利用者を介護中、椅子に座っていた利用者をトイレに連れて行くため、利用者の前側から両手を持って立たせた際に、自分の腰に重みが掛かり違和感が残った。その後も介助中に腰を捻ったりすると痛みを感じたが、当日は最後まで仕事をした。安静にしていると痛みは軽減したが、後日にトイレに行ったとき痛みが強くなった。	44	130201	30～ 49
5	10～ 11	施設内ホールにて利用者の車椅子への移乗介助を行っている時に、利用者が予想外の行動をとった為、思った以上に荷重が掛かり、腰を痛めた。	30	130201	30～ 49
5	15～ 16	ホーム内1F特殊浴浴場にて寝台車椅子から特殊浴寝台ベッドへ寝たきりの入居者（女性）を移乗する際、左手首に強い痛みを感じ、その後左手が痛みにより、使えなくなった。	39	130201	50～ 99
5	10～ 11	当院病室において、患者様を車椅子からベッドへ移動させていた際、腰部の筋肉を痛めた。	41	130101	100～ 299
5	11～ 12	お客様のご自宅へ大きな絨毯をお届けする際、L字ソファ（3m×3m）を4人で移動しようとして腰に負担が掛かり立てなくなった。	53	80201	100～ 299
5	17～ 18	整骨院において患者の臀部分を施術中、左腕の肘を用いて患部に体重をのせた際に左肩に電気が走った様な強い痛みを感じた。	22	130109	50～ 99
5	10～ 11	浴室内洗い場から、浴槽への入り口にかけて片麻痺の男性利用者様（身長150cm台、体重約60kg）をシャワーチェアに座ったままの状態、椅子の左前脚と左後脚を両手で持ち前に引きずり、次に右前脚と右後脚を両手で持ち前に引きずることを交互に行い、浴槽ふちまで30～40cm程移動させ、両足を浴槽ふちに上げた状態にする。そのあと男性に左側にある手すりを左手で掴んでもらい、被災者は右側から男性の腰と太ももに手を掛け、椅子から体を持ち上げる形で浴槽内へ移動させ介助を行った。利用者様が介助経験が浅く緊張があったことと、体重もあつたため浴槽チェアからお尻を持ち上げることができず、腰に無理な負担がかかり、強い痛みを感じた。	40	130201	1～9

5	6~7	入居者（女性158cm・100kg）をベッドから車椅子に移乗する際、入居者がベッドから床に立ち、介護職員の肩に両腕を掛け、介護職員は入居者に向きを変えて座らせようとした時に急に腰が痛くなり、座らせた後に痺れが来る。終業時刻まで仕事を続け、帰宅後に仮眠をとり、目を覚ましたら痺れが強くて動けなかった。	53	130201	10~ 29
6	9~ 10	デイサービス玄関前にて、後部荷物台より車椅子を下ろそうと車椅子を持ち上げた時、力がかかり左肩に痛みが出た。	60	130201	500~ 999
6	10~ 11	デイサービス施設ホール内にて、利用者様が座っている椅子の向きを変えようと、もう一人の介護職員と二人で椅子を持ち上げ動かした際、左腰部と左足付け根に痛みが発生した。	48	130201	30~ 49
6	14~ 15	当社老人介護施設において、入居者を入浴させる業務を行っていたが、入浴を終えて浴室から出し、着衣を着せようと両手で抱えて椅子に座らせようとした際、後腰に激しい痛みを感じギックリ腰になった。	52	130201	10~ 29
6	13~ 14	トラックの左スライドドア側の荷台に置いたタイヤを、荷台前方右隅に積み重ねる作業中に、右後背部を痛める。	52	11701	50~ 99
6	14~ 15	当社において、本人が入居者様の体位変換（ベッド上）の作業の際、しゃがもうとした時に右膝を痛めた。	34	130201	10~ 29
6	14~ 15	首下麻痺の利用者様がベッドで静養していて、車椅子の方へ移乗しようとして身体をトランスしたところ、腰部に痛みを感じた。	50	130201	30~ 49
6	10~ 11	第5工場内の作業場にて、仕上げの為のグラインダー（電動工具、サイズ100）作業中、突然右手に強い痛みを感じた。手を離したが、指が曲がったまま伸びなかったので、無理やり伸ばしてみると、強い痛みとともに「バキッ」と指が伸びた。翌日、病院で治療したが、その後も指を曲げると伸びなくなるようになった。夏季休暇中、自宅で再び痛みを感じ通院したところ、レノイー症状があるので手術が必要であると診断された。	43	80409	30~ 49
		5歳児の保育室で、子ども用の椅子に座り、4人の園児を保育していた。			

6	7~8	後方から男児がおぶさろうと首に手を回してきたので、そのままの体勢で立ち上がった。2、3歩移動したところで、もう一度おぶさっている男児の体勢を整えようと、両膝を曲げてから伸ばそうとし、一步右足で踏み出そうとしたところ、左脹脛が「ブチッ」という鈍い音とともに痛み出した。その際、左足に体重がかかっていたため、左足首も捻ってしまった。	58	130201	50~ 99
6	9~ 10	店内菓子売り場で、カット台車に商品を載せ、品出しをする通路を変更するため曲がった時、腰を捻り、グキッと感じた後、強く痛みだした。	55	80209	100~ 299
6	7~8	木材置場において作業中、フォークリフトで木材のコンパネの品出し時、上に半端のコンパネ（1枚約12kgを17枚）を載せたところ、下段のコンパネとずれてしまったため、フォークリフトから降りて修正するため、ずれたコンパネを押したところ、右足が「ピキッ」となり、その場で動けなくなった。	63	80209	50~ 99
6	19~ 20	本館床材コーナーにて、タイルカーペットの品出しを行っている際に、右手を使って商品を押し込もうとした。この時、特に親指に強く力を入れて押したところ、右手首に強い痛みがはしった。この日はそのまま仕事を終え、帰宅した。翌日になっても痛みは治まらず、腱鞘炎の悪化によるものと判明した。3ヶ月程前から痛みはあったが、特に治療は行わず、業務を続けていた。	27	80209	50~ 99
6	21~ 22	利用者宅へ訪問し、退去の際に家屋のシャッターを左手で下ろしたところ、肩に痛みがあった。翌日、痛みがそのままあり、腕も上がらなかつたため病院に行った。	66	130201	10~ 29
6	10~ 11	ナースステーション内で、食事を終えた患者を車椅子で病室へ1人で連れて行き、車椅子からベッドへ移乗する際、立ち上がって足を踏み込んだところ、重心が左膝に乗り、さらに患者の体重もかかった為、激痛がはしった。半月板損傷と診断された。	56	170101	50~ 99
6	14~ 15	車両荷台からクールボックスを押し出す際、右脹脛に痛みを感じ受診したところ、肉離れと診断された。	52	170101	500~ 999

6	11~ 12	利用者宅にて立位介助で抱き起こしている際、利用者の全身脱力を感じたため、ベッドへ戻す時に腰に衝撃が走り、椎間板を損傷した。当日は早退し安静にしていたが、痛みがひどくなった。	30	130309	1~9
6	9~ 10	入居者居室にて、トイレ介助作業後、入居者をベッドへ移乗させようとした際、急に腰の痛みで動けなくなった。同室内で勤務していた他のヘルパーに仕事を替わってもらい、病院で受診した。	30	130201	30~ 49
6	10~ 11	2階病棟にて、看護師2名と一緒に車椅子の患者様の移動のために介助を行っていた。右足を車椅子にのせて患者様を抱え、移動させようとした際に、つま先立ちした状態の左足に患者様の体重がかかり、左足下腿の断裂に至った。	43	130101	300~ 499
6	9~ 10	B棟1階の居室において、居住者より、自分で起きられないため来てほしいとの連絡を受けたため訪問し、45kg位の女性居住者を抱えてベッドへ寝かせ直そうとした時、ボキッと音がして、腰に痛みがはしり動けなくなった。20分程経過した後、車椅子にて病院へ運ばれた。	67	150101	300~ 499
6	13~ 14	勤務中に、児童と走り回り鬼ごっこをしていた時に、急に腰を痛めてしまった。	42	130201	30~ 49
6	16~ 17	利用者様のトイレ誘導中、トイレの中で介護士2人で介助中、利用者様の手が手すりを握っているのに気が付かず、移動をしようと抱きかかえた時に、強く腰を捻ってしまった。今後は、利用者様の全行動を確認してから行動するように気をつける。	41	130201	50~ 99
6	13~ 14	入居者の居室にて、歯科診療を終えたご入居者を、歯科医師が誤嚥防止体操の指導を行うため、指示により、車椅子からベッドへ移乗介助を行った。入居者の両手を首に、両脇より腕を差し入れ、ベッドに端座させる際、左腰より左臀部に痛みが生じた。時間が経つにつれ痛みは増したが、翌日は休日であったため横になっていた。夜になって歩行困難となり、救急車にて病院へ搬送され、そのまま入院した。	53	130201	10~ 29
		病室にて、排便によりオムツ交換が必要な患者さんに対して1人でオム			

6	11～ 12	ツ交換を実施しようとした際に、便が軟便で多量のため患者さんの身体を手前に引き、右手でオムツを引っ張る動作を行ったところ、急に腰に痛みが発生した。	58	130101	100～ 299
6	18～ 19	利用者用食堂の入口で、利用者を誘導中に、後ろを横切った利用者が転倒しそうになったので、後手で支えようとしたが支え切れず、腰を捻ってしまった。	39	130109	100～ 299
6	10～ 11	病院2階A病棟にて、看護師1名と一緒に、患者の体位変換のため、患者をベッドの右側に寄せようと、ベッドサイドの左側に立ち、患者の体の下に両手を入れ、向こう側へ移動させる動作をした際に、左上腕より「ピキッ」という音がして、動かすことが出来なくなった。	38	130101	100～ 299
6	10～ 11	病棟にて、お風呂から帰ってきた患者さんの着替えをしている時に腰部が痛くなってきて、歩こうとしたら歩けなくなっていた。	42	130101	300～ 499
6	22～ 23	認知症専門棟にて夜間勤務をしていた。個室の部屋において、部屋にはベッド、ベッド横にL字型の柵、ポータブルトイレ（夜間のみ）を設置してあった。利用者よりトイレとのナースコールがあった。利用者は掴まり立ち・つたい歩きは可能だが、臥席から座位、座位から立位姿勢をとるには介助が必要であった。臥床していた利用者を端座位姿勢にする為、職員の腕を利用者の背中の方へ回し、支えて上体を起こそうとしたが、バランスを崩し、前屈みになった際、腰に痛みを感じた。	48	130201	50～ 99
6	22～ 23	カラオケ店の店先で、高めのハイヒールを履き、顧客を見送りしていた際に、左のハイヒールのソールが舗装面のわずかな凹凸に引っ掛かり、不安定になった状態で左足に荷重をかけてしまったため、左足首を内側に捻ってしまった。	38	140309	1～9
6	16～ 17	デイサービスの利用者を社用車（リフト車）から自宅まで送り、小走りでリフト車まで戻る途中で右膝に激しい痛みを感じ、歩けなくなった。	56	130201	10～ 29
	9～	訪問入浴サービス利用者宅マンション入り口で、入浴物品を搬入しようとした際、バケツの中にシャワーホースや洗剤等を入れて両手で持ち入り口廊下を移動しようとした際に、右側に何台もの自転車が止められ			10～

6	10	ている状態で、荷物を持っているため足元が見えづらく、自転車のスタンドに引っ掛かり前のめりになって、両手がふさがっていた為に右膝から倒れ、そこへ全体重がかかり負傷した。	59	130201	29
6	9~ 10	1Fリハビリテーション室にて、体格の大きい患者を車椅子から治療台へ移乗しようとした際、患者が介助者（被災者）を引っ張りながら立ち上がろうとした為、介助者の腰に過剰に負担がかかり負傷した。	31	130101	100~ 299
6	12~ 13	老人ホーム内入居者の部屋で、入居者をベッドから車椅子へ移動する時に手首を負傷した。その時、手首の辺りからブチッという音がして激痛がした。	48	130201	100~ 299
6	12~ 13	利用者宅にて、トイレ介助で車椅子からポータブルトイレに移乗させていた際、バランスを崩してしまった。利用者の転倒を防ごうと無理な体勢をとってしまい、背中に痛みを感じた。数日はそのまま仕事を続けられたが、痛みが治まらず、胸椎圧迫骨折をしていた。	56	130201	10~ 29
6	9~ 10	公園のトイレ床面に水を流そうとした際に発生したものである。床面にある空のバケツを手にとろうと腰を曲げた時、ぎっくり腰を発症した。腰を曲げ、まだバケツに手が届いていない状況で発症した。その場で動けなくなり、救急車を要請し、病院に運ばれた。	64	150101	500~ 999
6	15~ 16	当院病棟内浴場にて入浴介助時、患者を抱えた時に腰部に痛みを感じた。その後も痛みを耐えて勤務していたが、我慢できなくなり受診したところ、骨折が判明した。	63	130101	300~ 499
6	17~ 18	勾配天井作業にて、同じ姿勢で天井の下地組及び天井プラスターボード貼り付け工事作業を行った後、右首に痛みが発生、頸椎捻挫状態と診断された。	20	30201	100~ 299
6	10~ 11	使用していた平均台を、トラック外に置いていた他の平均台の所に片付けようと持って行き、置いた際に腰を痛めてしまった。	38	130201	50~ 99
6	16~	総合リハビリ室内で、患者様をリハビリ中に発生した。ベッドに座っていた患者様の正面から、両腕を脇の下に入れてお尻の下部を支えて、	24	130101	300~

	17	引き上げた際に腰に激痛が起こり、その後、脱力感が発生した。			499
6	17~18	4、5日前より腰痛があった。当日は夜勤に入り、夕食準備のため患者様のベッドアップ業務の際、130kg程ある患者様の体を上げる時に腰に違和感を感じたが、そのまま業務を続けていたところ、配膳中に歩くのも我慢出来なくなる程の痛みになり、そのまま動けなくなった。	56	130101	500~999
7	10~11	当日、本人は列車に乗務し、3分遅着後、乗降ドアよりベビーカーを押して降車するお客様の補助をするため、車両側から中腰の状態ですベビーカーの前輪を持ち降車を手伝った際、左腰に強い痛みを感じた。その後運転所に帰所。	38	40101	100~299
7	13~14	当社において客室清掃作業中であった。ベッドメイキングを行っていた際、セミダブルのベッドを跨ごうとして（客室が狭いためベッド周りの移動が難しい場合はベッドを跨ぐ）右足ふくらはぎに痛みがはしり負傷した。	55	140101	30~49
7	10~11	特別養護老人ホームにて、入居者様（女性・身長147cm、体重37kg）をベットに座っている状態から車椅子へ移乗させる際に、横から入居者様の腰部を持ち上げた時に、腰に激痛が起こり、その場で動けなくなった。	52	130201	30~49
7	9~10	2階に入居している利用者（女性87歳）のおむつ交換をするため、臥床している利用者の方のズボンを脱がせようとかがんだ瞬間、腰部に激痛を感じ動けなくなり、近くにいた他の介護職員（女性職員）の方を呼び事情を説明し、車椅子により一旦休憩室に戻るも痛みが強く、翌日も痛みがあった。	36	130102	300~499
7	11~12	利用者居室にて寝ている利用者をベッドに座らせ、車イスに移そうと腰をかがめ、利用者を持ち上げ、方向を変えた際に負荷がかかり、痛めてしまった。	31	130201	30~49
7	13~14	利用者の介助業務で、車椅子からベットへ移乗させるため、支えで利用者の足と足の間に自分の右足を入れ移乗させた際、右膝に痛みがはしっ	42	130201	50~

		た。 ※初診日まで家にあった湿布薬を貼ったりサポーターをして痛みを我慢していた。			99
7	22~23	全身に衣装を装着し、ステージショーに全公演出演後、退勤のため、建屋を出てすぐの階段を下りている際、左足を着いた時に左膝に違和感・痛みが発生。 通常歩行ができる状態だったため、左足を庇うように歩きながら帰宅。 アイシングとマッサージを行った。 以降、コンディショニングルームを利用し様子を見ながら出演を継続。 後日ステージショーにて「ボーボールを床面に叩きつけながらしゃがんで静止し、その後勢いは付けずに立ち上がった」際、左膝に強い痛みを感じた。	28	140302	10000 ~
7	8~9	イベント終了後、作業員が解体を始めステージトラス上で電飾付きパネルを撤去中に配線用ケーブルを持ち、吊りワイヤーを切断したところ、コネクタより機材本体が外れステージ上に電飾付パネルが落下し、機材が破損し飛散した一部がステージ裏下で作業していた作業員のヘルメット頭頂部にあたり負傷した。	45	40301	10~ 29
7	9~10	作業が終わり工具を保管するために、ビニール袋に入れ、固定のために少し太い輪ゴム（市販品）をかけた時、輪ゴムが切れて作業者の右目に飛んで来て当たった。	47	170101	100~ 299
7	6~7	保育所の男性更衣室のエアコンのフィルターの掃除をするため机（120×60×H45）にテーブル（52×52×H34）をのせその上に椅子（28×30×H30）を置き、その上によって作業している時、エアコンのフィルターが床に落ちたので拾おうと降りる際にバランスを崩して転び左手を畳の所について左手首を骨折した。	50	130201	50~ 99
7	10~11	作業開始前の準備中、洗浄機後ろに敷いてあるステンレスのスノコに足を取られ転倒、その際に準備していたラック及び台車に左脇腹を強打し肋骨を折ってしまった。	58	170209	30~ 49
7	13~14	ご入居様を車椅子からベッドへと移乗介助している時に、前方からかかえ上げ介助をした時に、ご入居様の身体が背後にのけぞりつっぱった状態となり腰に強い負荷がかかった。	34	170101	500~ 999

7	6~7	施設内3階リビングのソファにて入居者様の便失禁介助の際、被災者の左膝からバッキンと大きな音と強い痛みが走る。しばらくは市販の鎮痛湿布薬で手当をしていたが、痛みが引かなかった。半月板損失との診断。	50	170101	30~ 49
7	6~7	施設内3階リビングのソファにて入居者様の便失禁介助の際、被災者の左膝からバッキンと大きな音と強い痛みが走る。しばらくは市販の鎮痛湿布薬で手当をしていたが、痛みが引かなかった。半月板損失との診断。	50	170101	30~ 49
7	16~17	健診センター受付で、ビル管理会社による床清掃作業準備のため、床の上の椅子や備品等を片付ける際、前屈作業が多く腰痛発生。もともと腰椎椎間板症があり。当日は夕方だったのでそのまま帰宅したものの、翌朝腰が伸ばせず、それでも無理して出勤したところ、上司から休むように言われた。	39	130101	50~ 99
7	13~14	訪問介護利用者宅にてサービス時、床に仰臥位の利用者を起こして車イスへ移乗する際にヘルパーの身長ではかなりの高さに持ち上げなければならず腰に負担がかかり腰部に痛みが出たもの。（その日以降痛みこらえて勤務を続けていたが後日夕方に痛みが強くなり歩行困難になった）	42	130201	50~ 99
7	10~11	入浴介助のため、利用者を抱きかかえ脱衣所から浴室に移動を試みていたところ、突然胸部に痛みを感じ、そのためバランスを崩した状態となり、利用者とともに前方に倒れ込んでしまった。被災者は胸椎圧迫骨折により2~3週間の入院加療、利用者は腰椎圧迫骨折により自宅療養が必要と診断された。	61	130201	100~ 299
7	9~10	利用者宅寝室でベットから車椅子へ移乗介助をするため、ベット上で起床介助をしようとした際、利用者が全体重をかけて倒れてきた。咄嗟に身体を捻った瞬間首筋に痛みを感じた。	42	130201	30~ 49
		弊社リサイクルセンターコンビ第2工場にて、コンテナ内の古紙取り出し作業中に負傷す。コンテナ内一杯に積み込まれた古紙・段ボールを			

7	7~8	手作業にて取り出す作業において、他の古紙と絡み合っていた段ボールを取り出すために、段ボールの角付近を手に持ち、力いっぱい引き出そうとしたところ、誤って手が滑り、その反動で後方にひっくり返り、コンクリートの床で頭部と左肩を強打し負傷す。	41	150102	1~9
7	10~11	1F施設内トイレにおいて入所者（車イス使用）の方をトイレ介助していた。入所者が急に立ち上がり車イスに戻ろうとしたため、転倒させてはいけないと思い、慌てて、支えた時に十分な体勢ではなかったため、腰を捻った様な感じになり、腰を負傷した。その日は最後まで勤務したが、翌日より動きにくくなった。	57	130201	30~ 49
7	12~13	午前中に車で回収の仕事をしていて、お昼に会社に戻った際に、車から降りた時に下に段ボールの塊があり、踏んで左足をくじいた。	23	80109	10~ 29
7	14~15	大浴場にて入所者の機械浴終了後、機械浴用車いすから移動用の寝台へ同僚と二人で抱えて移動した際に腰と左股関節を痛めた。	43	130201	100~ 299
7	10~11	応急救護指導員講習中に講習会場で、負傷者の移動の実習時に負傷者を背負う際に、自分の腰に強い負荷がかかり腰に強い痛みとともに電気のようなものが走り、その場で動けなくなった。しかし、資格取得のため、翌日の実技試験まで無理をし、悪化させてしまった。その後、整形外科で診察とレントゲン、MRI検査をし、医者の診察結果はMRIの画像から見て、強い負荷による第4、5腰椎の椎間板ヘルニアとの診断だった。	44	120109	30~ 49
7	23~24	夜勤業務中に病室内にて患者さんの体位交換を行った際、急に腰に痛みを感じ、第4腰椎圧迫骨折と診断される。	68	130101	100~ 299
7	17~18	看護師と2人で入院患者をベッドから車いすへ移乗させる時に患者のお尻が車いす左側の肘掛けに当たり、患者を持ち上げた時に腰に痛みを感じた。準夜時は人が少ないため我慢して仕事を続けた。そのまま帰宅し、翌日は休みだったが痛みを感じながら自宅で様子を見ていた。その翌日朝起き上がる時、腰に激痛が走りなかなか起き上がれなかった。	61	130101	100~ 299

7	16~17	デイケアを利用されている方を自宅へ夕方送って行く。立位困難の方で常時車椅子を利用している。自室へお連れし、ベッドの右側に車椅子をつけ、両腕で抱きかかえてベッドに上げる。その時背中を軽くひねった。すぐには痛みはなかったが後日動くのが厳しい状況になった。	70	130109	100~ 299
7	11~12	整備工場内のタイヤチェンジャーを使い、ホイールからタイヤを外す作業において、劣化の激しいタイヤが硬く、ドートブレーカーの力がうまく伝わらずにホイールが逃げてしまうので、やむなく右膝をタイヤホイールに押しつけて外す作業を複数回行い、右膝を傷めた。	38	80202	1~9
7	10~11	入浴補助で着脱の介助時に腰を痛めた。	33	130101	10~ 29
7	9~ 10	利用者居室内にて、オムツ交換時客室のベッド上で横になっている利用者の右側面に立ち、麻痺のある左半身を持ち上げた際に、無理な姿勢で持ち上げてしまい、腰を痛めてしまった。	20	130201	50~ 99
7	12~ 13	2階入居者居室内で、入居者をベッドから車椅子へ移動するための作業を2人組でする際、前かがみになったときに背中と腰に痛みが走り、通常の動きができなくなった。	33	130201	50~ 99
7	16~ 17	デイサービス静養室にて、2人介助にて入居者の排泄介助を行っていた。車椅子からベッドへ移乗する際に、1人が後ろで支えて、本人が前で抱き上げたときに、腰を強く捻ってしまった。	67	130201	30~ 49
7	15~ 16	道路上で徘徊し、認知症のせん妄状態が出現している利用者を発見した。家族へ連絡し、タクシーに乗せようとした際に利用者が抵抗し、利用者の身体が地面に落ちそうになったため、利用者の身体を支えようとしたときに、腰椎を圧迫骨折した。	61	130201	30~ 49
		介護施設での介護業務に従事中、入居女性（155~160cm、40kg程度）の入浴介助を終えて居室に運び、同僚の介護職員と共にストレッチャーからベッドにトランスファーする際に発生した。ストレッチャーをベッドの脇に並べるように配置し、同僚が足側を、被災者が頭側を担当			

7	9～ 10	<p>することになり、入居女性の脇の下に手を入れて身体を持ち上げた。</p> <p>そのまま被災者は足を動かさずに踏ん張った状態で、ストレッチャーからベッドに向けて入居女性をスライドさせようとしたところ、腰を捻ったことにより腰痛を発症した。トランスファーを行うためのストレッチャーとベッドの配置（位置関係）、及びトランスファー自体のやり方については普段と変わらず、被災者はこれまで腰痛の症状が無かったことから、自身の身体を捻ったことによる腰への急激な負担が、原因であるものと思料される。</p>	38	130101	500～ 999
7	12～ 13	<p>デリカ作業場にてフライヤーを清掃する際、油切り用の部品を取り外そうとしたときに、添えた右手小指の腱を断裂した。</p>	45	10109	30～ 49
7	10～ 11	<p>施設の利用者居室内にて、リクライニング車椅子からベッドにスタッフ2名体制で移乗介助をしていた際、足元での介助を行っていたときに、腰を痛めてしまった。</p>	51	130201	30～ 49
7	19～ 20	<p>利用者居室でオムツ交換後、ベッドの足元側に全身が下がっていたため、体を上の方に移動しようと思い、両腕を利用者の背中側と下半身に差し入れ、ベッド頭上に移動したところ、体格が良い利用者であるため左足に加重がかかってしまい、左足ふくらはぎ裏側からブチっという異音がし、床にしゃがみ込んでしまい、しばらく痛みのため動くことができなくなった。</p>	60	130201	50～ 99
7	20～ 21	<p>病棟内の患者の部屋にて、患者が床に倒れており、看護師と一緒に患者をストレッチャーに移動させるために持ち上げたところ、その重さで腰に負担がかかってしまった。その日は何もなく過ごしたが、翌日から少しずつ痛みが発生した。</p>	46	130101	300～ 499
7	15～ 16	<p>入居者居室にて、排泄介助（パット交換）のため車椅子からベッドに移動する際に、対象利用者は下肢に力が入らず、全体重を掛けられ、支えていた右手首に負担が掛かった。様子を見ていたが、腫れてきて押すと痛みがあり、時間の経過とともに痛みが強くなった。</p>	63	130201	100～ 299
		<p>社内の水遊び場で、子どもが水遊びをしており、終了時に、なかなか水</p>			

7	11～ 12	遊びを終了できずにいた児童に指導員が声をかけ、手を差し出したところ、いきなり児童が指導員の手を引っ張り、指導員は違和感を感じた。	43	130201	1～9
7	19～ 20	当社グループホーム内にて、利用者（身長155cm、体重45kg、介護度4、女性）の入床介助中、車椅子からベッドへ移すため、利用者を一人で抱え上げたとき、利用者が怖がって、突然車椅子を掴んだため、バランスが崩れてしまい、体勢を保とうと右足を踏み出し床面についたとき、全重量が踵にかかってしまい、右足を負傷した。	41	130201	10～ 29
7	16～ 17	事務所内のトイレにおいて、利用者のトイレ介助作業中、利用者のズボン上げるため、中腰の体勢から体を起こそうとした際に、腰部に激痛がはしり負傷した。	24	130201	100～ 299
7	14～ 15	デイケアフロア内で利用者の前で、レクリエーションとして、スタッフと腕相撲をしていて、左腕を骨折した。	35	170101	50～ 99
7	15～ 16	職場のレントゲン室にて、ストレッチャーで運ばれてきた患者を撮影台のベッドへ移乗しようと思い、患者の体が撮影台と離れていたため、身を乗り出して患者の体を持ち上げようとした際に腰に激痛が走った。	24	130101	300～ 499
7	10～ 11	子どもを抱っこしながら立ち上がろうとしたとき、子どもが暴れたため、体勢を崩しながら立ち上がり、膝を痛めた。	38	130201	50～ 99
7	11～ 12	介護老人福祉施設本館4階にて遅出業務に入り、入所者の入浴が終わり、ラウンジにて、介護職員と2人でストレッチャーからリクライニングに移乗介助したときに腰を痛めた。	50	130201	100～ 299
7	16～ 17	駐車場において、全介助者を車椅子から送迎車の中へ移動する際、一人介助にて行っていたところ、右足太股に利用者の身がのりかかる状態となり、転落しそうになり、不安定な姿勢のまま無理に座席へと乗車させた。その際、過度に足の付け根を捻る形になり、グギッと音がして痛みがはしった。	58	130201	10～ 29
7	15～	病院の病室内にて、患者の排泄介助（おむつ交換）をしていた際に、右手親指に痛みがはしった。その後、痛みを我慢しながら就業していた	37	130101	100～

	16	が、痛みに耐えられなくなった。			299
7	15～ 16	病院の病室内にて、患者の排泄介助（おむつ交換）をしていた際に、右手親指に痛みがはしった。その後、痛みを我慢しながら就業していたが、痛みに耐えられなくなった。	37	170101	50～ 99
7	15～ 16	店内にて、客が買った商品の入ったカゴを持ち上げて清算台に置いたときに、右膝に痛みを感じた。その後も痛みを堪えて仕事を続けたが、翌日に痛みが激しくなったので病院へ行ったところ、膝の筋肉に炎症を起こしていた。	18	80209	30～ 49
7	19～ 20	居室にて転倒している療養者を一旦車椅子に乗せるため、1人介助で起こそうとしたとき、右足を捻り、自身の体重が右足にかかり、右第5中足骨を骨折した。	33	130201	100～ 299
7	11～ 12	お客様宅へ契約の提案で訪問し、1時間程説明し、辞去する際に足がしびれて感覚がなくなっていたため、立ちあがったときに足首を捻って左側に倒れ、骨折した。	23	90103	100～ 299
7	21～ 22	バスの運転中、乗客の男性から行先について粗暴な態度で問いかけられ、信号で停車し、さらにやり取りするうちに、立腹した男性から大声で怒鳴られ、首元をわしづかみにされた。久社は、いわゆるギックリ腰的なショックで、首や腰に痛みが現れ、翌日に整形外科を受診し、急性腰痛症、腰部椎間板症と診断され、休業および治療が必要となった。	49	40202	50～ 99
7	18～ 19	病室にて、車椅子からベッドに患者（60代男性）を抱えて移乗するとき、患者が体を動かしてバランスを崩し、左足を捻った。痛みはあったが、脹脛だったので筋を痛めたのだと軽く思っていた。その後も痛みは続き、三日後に内出血も出てきたので、市販の痛み止めでのいだったが、痛みも増し、正座も困難になった。	47	130101	300～ 499
7	12～ 13	被災者はバスを運行中、電動車椅子のお客様を被災者と現認者の2人でバスに乗せようとし、現認者はバス車外から車椅子を押し、被災者はバス車内から車椅子を引き上げた。しかし、車椅子が思いのほか重く、	43	40202	30～ 49

		力を入れて引き上げようとしたため負傷した。			
7	15～ 16	消防研修時、2人組でおんぶをして2階から1階へ安全に降りる訓練を行った際、自分がおんぶしてから相手を降ろそうとしたとき、左腰部に痛みがはしった。そのときは大丈夫であったが、翌朝になり、左腰から左足に痛みを感じた。	40	130101	100～ 299
9	1～2	店舗の寸胴交換時に、ガラをゴミ箱に捨てる際に腰を痛めた。持病でヘルニアを持っており、業務の際に、又、発症した。	36	140201	10～ 29
9	7～8	利用者宅寝室において、利用者（身長168cm、体重58.3kg、左足が不自由で自分では歩けない）をベッドから車イスに移動介助中、利用者も介助に不慣れだった為、無理な姿勢になってしまい腰に痛みが走った。	69	130201	10～ 29
9	14～ 15	訪問看護中利用者様宅にて、利用者様がベット下部に下がっていた為、頭部側へ移動させようと、御家族といっしょにベット頭部側から利用者様の脇を持って移動しようとしたところ、自分の右胸部に痛みが走り、それ以後、右胸痛より、整形外科受診で、右肋骨骨折と診断された。	56	130101	100～ 299
9	17～ 18	衣装を着用し、ステージショーに出演中、男性ダンサーとのペアダンスで、「お互いに片手で握り合い体重を後方にかけ、その後引っぱり合せて近づく振り」で、相手の引っ張りが強く、首だけが後ろに残ったまま、身体だけが前に出てしまい、首に痛みが発生。その後痛みはあったが、動きを軽減しながら、最終回まで出演した。	36	140302	10000 ～
9	6～7	ご入居者の居室内で、布団（床）からの立ち上がりの介助の時に、口頭での指示が伝わらない方で、体がつっぱり、全体重を支える形で介助したために、腰部に激しい痛みがでたが、介助を続けた。	49	130201	30～ 49
9	16～ 17	デイサービスセンターフロア内の利用者用トイレで、利用者を洋式トイレから車イスへ移動する介助をしている時に、一人ではまったく立位のとれない利用者が本人の首に両腕をまわして本人は利用者の腰に手を回して持ち上げながら数歩移動し、車イスへおろした。その直後、腰から大腿にかけ痛みが出て痛みが強くなり、ゆっくりとしか歩けなくなったものである。	67	130201	100～ 299

9	20～ 21	有料老人ホーム施設の事業所内にある、利用者居室の定期巡回業務をしていたところ、居室内において、車椅子乗車のまま車椅子ごと転倒している利用者を発見した。当該社員はとっさに車椅子を起こそうとして一人で車椅子を持ちあげるべく床面から車輪部を持って押し上げたが、その際に不安定で無理な姿勢をとってしまったため、腰椎圧迫骨折と診断された。	65	130201	1～9
9	10～ 11	利用者宅のトイレにて、トイレ介助中、オムツ交換の為、利用者に立位になってもらった時、利用者が後ろに倒れそうになったので、利用者の腰を抱えた際、腰に痛みが走った、痛みを感じながらも数日業務を継続していたが、段々と痛みが強くなり、受診する。	48	130309	10～ 29
9	14～ 15	施設内2階、ご入居者居室のトイレ内で、ご入居者がトイレ壁設置の介助バーをつかんで、車椅子から立ち上がろうとしたところをその背後から右手でズボン、左手でご入居者の左臀部を支え上げたところ、左腰の辺りに激痛が走った。ぎっくり腰のような痛みで、日に日に痛む範囲が広がっている。	38	130201	100～ 299
9	6～7	施設内にて、ご利用者を床の上から車椅子へ移乗介助する際、ボキッと音がして痛みを感じる。移乗状況は、床の上からご利用者の身体を車椅子に持ち上げる動作を行う。	67	130201	10～ 29
9	15～ 16	利用者宅にて、ベッドでオムツ交換を行った際、体位交換時にバランスを崩し、左手の親指、人差し指、中指を負傷した。	62	130201	10～ 29
9	12～ 13	利用者と一緒に食事をとり、食器を片付けようと右手に皿を持ち立ち上がった時、右に利用者が居て、足を出しているのに気付き、バランスを崩して、左側に体が傾き食器棚に左半身を激しくぶつけ、左手を打ち床に跪いた。左肩、鎖骨、腕に痛みを感じたので湿布を貼り、夕方迄業務を続けた。	62	130201	100～ 299
		精神療養病棟のデイルームで、患者が床に唾をはいていたため、当労働者（准看護師）が「唾を拭いてね」と患者に紙を渡したところ、一度は			100～

9	7~8	紙を受け取ったが、その後、当労働者を突き飛ばした。当労働者は左膝をひねり、直後に「ブチッ」という違和感とともに強い痛みを覚えた。	53	130101	299
9	11~12	3階ユニットトイレで、トイレ介助のため、入居者の正面から中腰で両脇に手を入れて抱きかかえている時に、入居者が足に力が入らず、ほぼ全体重（45kg）を被災者が支えていたため、腰に痛みがはしり負傷した。負傷日当日は耐えられる痛みだったためがまんして仕事をしたが、家に帰ってから痛みが増して動けなくなり、翌日は仕事を休み自宅療養し、病院を受診した。	38	130201	50~99
9	0~1	当施設内、ご利用者様の部屋にて、おむつ交換のため、体位交換（身体を仰向けから横向きに交換）をしようと、ベッドに左ひざをつき、右足は床についた体勢で、横向きに寝ているご利用者様の背中を押し出した瞬間、右腰に痛みが走った。当日は応急処置で湿布をして勤務をした自宅に帰り就寝し、朝起き上がろうとしたが身動きが取れなくなった。	46	130201	10~29
9	16~17	住宅建設中の現場へ赤松やホワイトウッド、LVL、ケイカル板等の建設資材を運び入れている際、段差のある掃き出しの窓から登り降りして運んでいたため、何度も往復するうちに、腰が痛みだし、帰宅後安静にしていたにもかかわらず、痛みがひどくなり、通院するにいたる。	36	80209	10~29
9	9~10	患者をベットから抱き起こすとき、ベットのストッパーがかかっておらずベットが動いたので、患者を抱えていたので、股関節が開き負傷した。	64	130101	500~999
9	13~14	ショートステイ利用者をトイレ介助中、立位不安定であったため、利用者の臀部に介助者がひざを当てて、中腰状態になっている際、腰に痛みが発生する。	36	130201	300~499
9	13~14	弊社工場内において、粉碎機清掃時に座って作業していた所、立ち上がった時に膝を捻って負傷したものである。	56	10805	1~9
9	11~	作業済みの荷物を車両へ積み込む作業を行っていた際、腰部に強い痛みを感じ歩行困難な状態に、夏頃から腰部に痛み、足の痺れなど違和感が	51	130201	30~

	12	あり、病院への通院を行っていたが、症状が進み入院となる。			49
9	10～ 11	利用者宅において、ベットで臥床している寝たきりの利用者の訪問看護のケア中にあやまって、ベット柵に左肋骨を強打した。	44	130201	1～9
9	11～ 12	介護現場（フロア・共同トイレ）で、入居者が排泄を終えられ便座より車イスに移乗してもらおうと、入居者（自分で立てない）を立たせる為に対面になって支えようとした際、腰に負担がかかり動けなくなってしまった。（入居者は認知があり自身で立てず体重も労働者にかかりやすい）	36	130201	100～ 299
9	14～ 15	車椅子の男性をご自宅まで輸送、降車後、自宅マンションの入口に階段があるので手伝って欲しいとの要望があり、手伝ったところ車椅子を引き上げた時に、背骨を圧迫骨折した模様。	68	40201	100～ 299
9	18～ 19	夕食介助時、車椅子の利用者に、姿勢を正してほしいと頼まれ、腰の部分から持ち上げた際、右上腕部に痛みと違和感が発生した。	38	130201	50～ 99
9	12～ 13	支社と組合の合同研修があり、その後組合行事に移り、ビーチバレーボールの競技中、ジャンプの着地時に足をひねり転倒した。	43	90103	10～ 29
9	12～ 13	ドライバーに数回に渡り太ももを殴られる、何日か続けて同じ箇所を叩かれたため、内出血状態で痛みを感じる。	36	40301	30～ 49
9	20～ 21	夜間勤務中に、居室にて入居者様を車イスからベッドへ移乗介助を行っていた、片マヒである男性入居者様を車イスから抱え上げようと力を入れた際に痛みが走ったとの事、被災者は服薬の影響で骨が強くない事や男性入居者様も片マヒであり体格も大きく身体を持ち上げるのに大きな力が必要な事もあり、今回のケガに繋がった。	61	130201	10～ 29
9	11～ 12	トイレにて、職員が2人介助にて入所者の排泄介助を行った際、職員が入所者の両脇の下に手を入れ抱え上げたところ、腰部に激しい痛みを感じずくまってしまう、1人で動くことが困難なため、車いす使用し整形外科を受診する。	31	130201	100～ 299
	11～	運動会において、卒園児の徒競走プログラムに参加、その際、コース上			10～

9	12	の最初のカーブ付近で右足甲あたりに激痛が走り、歩行困難となった。	62	120109	29
10	12～ 13	居室にて利用者をベッドから車イスへ移乗する際、バランスを崩し右足を捻った。応急処置として患部に薬を塗り、湿布を塗布し帰宅する。第5趾中足骨骨折となった。	21	130201	30～ 49
10	10～ 11	老人ホームにてご利用者様への機能訓練業務を行っていた。リハビリ訓練台へ寝かせる際に体勢を崩しかけたご利用者様を支えたところ、左殿部から左大腿部にかけて痛みが発生した。	46	130201	50～ 99
10	14～ 15	ホームの入所者が車いすごと倒れていたため、足に力を入れ踏ん張り、車いすを起こそうとしたときに、右膝、腰を捻挫した。	72	130201	1～9
10	10～ 11	ご利用者様をベッドから車イスへ移乗介助した際、左足に激痛を感じたため受診した結果、肉離れとなる。	44	130201	50～ 99
10	9～ 10	ご入居様の居室内トイレにて排泄介助中、ご入居者の排泄後、L字型手すりのポールを握って立って頂いた。右手で腰を支え、左手で臀部を清拭タオルで拭いた際、突然腰に強い痛みが生じた。トイレ内には車椅子も便座に横付けしており、動きは制限される。	37	130201	10～ 29
10	2～3	コンクリート枕木（150kg）を2名で引きずりながら移動中、腰がグキとなり、左腰から膝までしびれた。	29	30309	10～ 29
10	22～ 23	整備業務中、構内から車が出構しようとした際、入庫の車が来た為、右手で出構の車を制し、左手で車止めを移動（車止めの車輪が劣化により重くなっていた。）当初痛みはなかったが、左腕に黒っぽい反転ができて左腕全体がうっ血した。	73	150101	30～ 49
10	11～ 12	取引先のゴミを持ち上げる際に腰を痛めてしまった。	34	150102	—
10	16～ 17	訪問入浴利用者の自宅にて、訪問入浴の作業中に利用者を浴槽からベッドに戻す際に利用者の体格が大きく、また両下肢を切断されている方だったため、利用者を支える自分の手や腕が不安定となっていたところに腰に激痛が走った。	36	170101	100～ 299

10	9~ 10	エリア・コンシェルジュカウンター付近で発生。業務の一環で、近隣の中学生を職業体験として受け入れる。受け入れた中学生1名が体調不良を訴え、コンシェルジュ休憩室で休めるよう移動中にその生徒が倒れこむ。被災者が駆けつけ近くの長いすに座らせようと抱えたところ、腰を痛めた。	45	170209	300~ 499
10	9~ 10	利用者宅で、ポータブルトイレ横の椅子に手をつき半分しゃがみこんだ姿勢の利用者を後ろからかかえ立たせようとしたところ、背骨がポキッという音がして腰に痛みを感じた。	73	130201	50~ 99
10	10~ 11	通所介護施設内にて、利用者の立位訓練中、利用者がバランスを崩し、それを支え、立位保持しようとする場面が頻繁にあった。背腰痛があり受診し、?11胸椎圧迫骨折の診断を受けた。	59	130101	100~ 299
10	7~8	病院の居室にて、朝食前に、患者さんをベッドの上（頭側）へ移動させる為、もう1人の助手と2人で持ち上げ移動させようとした際、左腓腹筋（ふくらはぎ）を損傷。	44	130101	100~ 299
10	18~ 19	利用者様居室にて、利用者様の移乗介助中に右手首を痛めた。その夜から湿布にて対応するが、次の日も痛みが残った。	25	130201	50~ 99
10	10~ 11	入浴介助中、入居者の立位介助を行った際、腰部と左下肢を痛める。	50	130201	30~ 49
10	15~ 16	体重のある利用者を車いすからベッドへ移乗介助する際に足を捻り、歩行が困難な程の痛みがあった。	53	130201	50~ 99
10	15~ 16	体重のある利用者様を車いすからベッドへ移乗介助する際に足を捻り、歩行が困難な程の痛みがあった。	53	170101	100~ 299
10	15~ 16	当社が運営する有料老人ホームの車椅子用トイレにて入居者のトイレ介助中に発生。手すりにつかまって立ってもらう体勢時に突然、入居者の膝折れが生じ、当該労働者の首と肩に全体重が申しかかった。その際、首と肩を痛めた。深夜になってから痛みがひどくなった。	23	130201	30~ 49
		当社事業所内にて、クリーニングの仕上げ作業中に、高さ約1.9mの鉄			

10	11～ 12	製の空台車を手で押して移動中、キャスターが引っかかり、台車が不安定になり倒れそうになったため、咄嗟に左上半身でそれを支え、左胸部から肩付近を捻って負傷。	50	11703	10～ 29
10	16～ 17	利用者自宅に於いて利用者を車椅子からベッドへと移乗させた。端座位になり、頭をヘルパーの腕で支え、体幹を安定させて上着を脱いでもらおうと肩に手をおいた時、突然後方にそっくり返った。咄嗟に怪我をさせてはいけないと利用者を受け止め様と思ったがバランスを崩しベッドの横にあったサイドテーブルに右手をついた。ねじるようにつき、骨折した。	76	130201	100～ 299
10	12～ 13	特別養護老人ホーム4階のサロンで昼食の食事介助後、女性入居者の方をトイレ誘導しようと車イスに移乗させたが、いやがり、あばれた。その際、床に落ちそうになったのでそれを支えようとした時、腰椎に激しい痛みが走り動けなくなった。	41	130201	30～ 49
10	9～ 10	派遣先の病棟にて、オムツ交換をしていたところ、体位を変える必要があったため、自身の身体の向きを変えた際、右ふくらはぎの肉離れを起こした。	51	170101	50～ 99
10	13～ 14	2病棟内にて、右側臥位で臥床している入院患者を体位転換する際2名で行ったが、右肋骨部をひねった時に痛めた。当日帰宅してから痛みが増した。	74	130101	100～ 299
10	15～ 16	利用者様宅玄関前の階段で、車イスに乗った利用者様を2人で運ぶために上っていたとき（下部を支えていた）不安定な状態で腰に負担がかかり第4腰椎を圧迫骨折した。	60	130201	10～ 29
10	11～ 12	第1診察室にて診察介助、患者が身支度を調べ診療台で端坐位をとり、靴を履こうとしたところ、後方へ倒れ転落しそうになり、咄嗟に患者の身体を支えた。その際に自分の身体の体勢が崩れ、診察台に右下腿をとられ受傷した。	52	130101	10～ 29
		介護施設内にて利用者を車椅子からトイレへ移乗する介助中に発生。利用者は介助度が高く、移乗する際は被災者を含め2人で介助してい			

10	10～ 11	た。被災者はトイレ介助をしようと、車椅子からトイレの便器に座らせるため、利用者を立たせ、被災者は中腰になりズボンと紙おむつをひざ下まで降ろし、中腰のまま利用者を正面に向かせようとしたところ、腰を右方向に強く捻ってしまった。	59	170101	300～ 499
10	20～ 21	ホーム内にて利用者さんのオムツの交換をする時、上体を少し上げようと引き上げた時、利用者さんがベットの柵を持ち踏ん張られたため、その際に腰を痛めた。	24	130201	100～ 299
10	9～ 10	4人部屋の病室にて男性患者様を車椅子からベットへ移乗介助中に受傷。移乗はトランスファーボードを使用して行い、その時の姿勢は中腰だった。ベットへ移乗した直後に右腰背部に重だるさとズキッとする疼痛を認めた。	31	130101	500～ 999
10	8～9	当施設において利用者の居室でオムツ交換のため車椅子からベッドへの移乗時に、被災者は利用者の脇に両腕を差し込み、抱えて移乗させようとした。その際、突然利用者が車椅子を左手で掴んだためバランスを崩し、利用者を落としそうになったため右足に力がかかり右膝を負傷した。	41	130201	30～ 49
10	10～ 11	介護事業部事業所外のトイレを使用するために、徒歩3～4分程度離れたトイレを使用した後、歩いているときに足を捻った。（外のトイレを使用していた理由：事業場内のトイレを使用する際、使用する音が事務所に聞こえ、男性職員が「聞こえるね」などの会話をしているのを耳にし、事業場内のトイレの使用に抵抗を感じたため。）	50	170209	50～ 99
10	11～ 12	体育館において、会社主催の運動会のフットサルの試合にゴールキーパーとして出場中、相手チームの社員が正面からシュートしたボールを受け止める際に右手中指を強打した。少し痛みを感じながらプレーを続けたが、その後患部が腫れていた。当初骨折（ひび）の診断で1カ月患部を固定し観察したが、再診の結果脱臼していることがわかり、入院・手術となった。	21	30202	30～ 49
		療養病棟病室320号室で患者様をベットから起こして、車椅子に移動す			

10	9～ 10	る際に力を入れたとたん、胸背部に激痛があり、そのまま患者様の膝元に倒れこんでしまい動けなくなった。	56	130101	50～ 99
10	9～ 10	1才児の保育室の右側付近で、1才児12人に3人の職員でおやつを食べさせていた。おやつ終了後に担当する1才の園児が機嫌が悪くなり激しく泣くため落ちつかせようと抱き上げた。3～4分程抱いたまま、室内を歩き回ると落ちついて泣きやんだため保育室の左側の畳の上に中腰の状態で園児をおろそうとしたところ、腰の骨がずれたような感覚があり痛みが出た。	25	130201	10～ 29
11	15～ 16	当社、廃棄物等選別場にて廃棄物運搬車のコンテナから廃材を降ろす作業中、コンテナの扉を開けた時に廃材が荷崩れを起こし、その中の角材が落下し左の足首付近に当たり負傷してしまった。	45	130201	50～ 99
11	11～ 12	外注先で、4tトラックの荷台で荷卸し中に、荷締めフックから手が外れて荷台から床に尻より落下した。更に機械工場のピットの中に落ち、機械に右側の頭を当て、頭の右先端を裂傷（3cm）し、5針縫う。又、手の指先（両手）に痺れがある。話は正常に出来る。	37	130201	100～ 299
11	11～ 12	冷凍庫前室にて原料を開梱中、前室入口のドアを開けた状態で作業を行っていたが、ドアが急に閉まってしまい、止めようとした際に左手人差し指を挟んでしまった。	48	130101	100～ 299
11	9～ 10	豚肉の加工場内での作業中、豚肉を押して整えようとして手を下に伸ばした時に右肩甲骨の下の方に鋭い痛みがあった。その後もかばいながら仕事をしていたが、その後、腕が上がらなくなった。	65	130201	10～ 29
11	13～ 14	バイクを使用して夕刊を配達中、夕刊をポストに入れようとバイクを降りた時に、溝に足をとられて右足を捻ってしまい負傷したものである。	48	150101	10～ 29
11	9～ 10	被災者は、倉庫内作業にてトートと呼ばれるピッキング作業時に使用する容器をハンドフォークを使用して各エリアを巡回しながら搬送・補充する作業に従事していた。狭い通路の角を曲がる際、搬送物を壁に強打させてしまい、その振動が腕にまで伝わり痛みが発生し、作業困難と	34	140302	10000 ～

		なった。			
11	11～ 12	階段で一人でうどん1袋を持ち運んでいる途中、踏み外して転げ落ちた。	25	140302	10000 ～
11	19～ 20	特別養護老人ホーム施設内で利用者を車椅子からベッドへと移乗しようとした際に、利用者の男性の体重が重くしかも片麻痺による傾きと拘縮が強く更に排便した状態であったため不安定な姿勢での移乗をせざるを得ず、移乗を行った時に激しく腰を痛めた。なんとか身動きがとれたため職務を続け夜勤を終えた後に受診した。	32	130201	100～ 299
11	13～ 14	胃ろうの方をリビングからお部屋に移乗し、車椅子からベッドへ移乗の際にフットレスが開かず、足先が引っ掛かり、一度抱えてベッドにのせる時に腰を捻り、「ギクッ」と音がした。その夜から鈍痛があり、その後歩き出せなくなる。（身長160cm、60kgの女性の対応）	52	130201	50～ 99
11	14～ 15	放課後等デイサービスで子どもの相手をしている時に、フロアにおいて、泣き出して外に出ようとドアから離れない子ども（靴を脱いで中に入れられない子ども）を、ドアの通行が出来るよう、又、子どもが場所を移動して落ち着けるよう、子どもを抱き上げ、移動した。その際、姿勢を崩してしまい、腰に大きな負担がかかり、歩行も困難なほどの持続的腰痛が発生するに至った。	50	130201	1～9
11	9～ 10	入居者様居室にて、ベッドから車椅子へ移乗する際に入居者様の膝が曲がり、腰部を痛めてしまった。支える為、自分の膝をのばした。ご入居者様は左腕が欠損しており、左足麻痺である。	22	130201	30～ 49
11	16～ 17	訪問入浴介助サービスにおいて、入浴後の浴槽からベッドへ利用者の移乗介護を行う際に左肩に違和感を覚え、その後、翌朝になり、痛みを感じ、左腕を上げることが出来なくなったので医療機関に受診する。	28	130201	10～ 29
11	11～ 12	居室トイレにて、入居者の排泄介助のためトイレ便座と車椅子との移乗介助中、トイレ内で狭いため、入居者が立位保持出来ずよろけ崩れ落ちそうになったのを左手で支えたところ、体重が左手のみにかかり左肩に激痛がはしった。	49	130201	30～ 49

11	16~ 17	入浴時の脱衣介助時、入居者様に左腕を引っ張られ、肩を痛めた。翌日、就寝準備の為の更衣中、再度、左腕を引っ張られ、肩から背部を痛めた。その後、介助中、左肩をかばう為、背中腰の痛みが出現した。	27	130201	10~ 29
11	15~ 16	特浴室で利用者の入浴前後の着脱と移乗、60kg程の男性利用者をストレッチャーから車椅子へ移乗した際、両手を利用者の脇の下に入れ、ストレッチャーと車椅子の間に立ち、足を大きく広げていた時に腰を捻った。	24	130201	50~ 99
11	15~ 16	厩舎内廊下で、馬房へ馬を曳いている時に突然馬が立ち上がり、その際にバランスを崩し左足首を捻った。しばらく様子を見たが、痛みがあり腫れているので受診した。	30	70101	50~ 99
11	15~ 16	配送業務中、通数を記録していたところ、犬2匹が吠えながら近付いて来たため、下り坂を走って逃げた。その際、地面に着地した左足の膝が伸びた状態のところに体重がかかり、違和感を覚えたため受診したところ、左膝関節血腫、左脛骨骨挫傷と診断された。	24	110101	100~ 299
11	9~ 10	メンテナンスを終えた大型車を移動させる為に、その車両の運転席に着席した時に、腰に痛みを感じた。時間の経過とともに痛みがひどくなった。	67	40301	1~9
11	10~ 11	病棟内で、保護室内入院患者を入浴後保護室に戻ってもらう際、当該患者が暴れた。制止した際にその患者が被災者の右足背に尻もちをついて倒れた。誘導はナース2名で対応していた。右足背には患者の坐骨がぶつかった。（当院は、精神科の病院である。）	41	130201	300~ 499
11	8~9	入居者居室内にて、63歳男性（身長165cm、体重45.1kg）をベッドより起きて頂こうと入居者の肩下に手を入れ力を入れ、上体を起こそうとした際腰がギクッとなった。その後は仕事を続けるも左足に激痛があり歩くことも辛くなる。	61	130201	100~ 299
	12~	店舗内で接客販売中、清算のため顧客をレジスターへ案内すべく、カウンターから右方向へ身を翻す形で一步方向転換して離れた途端、ブチッ			500~

11	13	と音が響いた様な感覚が下半身に伝わり、突然左膝から下が脱力し歩行不能になった。時間の経過に伴い、左脚ふくらはぎ内側が腫れ出し、じんと痛みが激化した。	55	80209	999
11	10～ 11	ご利用者（女性）が水分補給をする為、車椅子への移乗介助を行った際に腰に痛みが出た。当日はそのまま勤務を行い、翌日は自宅療養していたが、痛みがひどく、後日病院を受診した。	51	130201	100～ 299
11	0～1	キッチンで食洗機内の食器を棚に片付けている時、背後から利用者に声を掛けられ立ち上がった時、膝を負傷した。	57	130201	50～ 99
11	15～ 16	施設内のトイレにて、車椅子に乗った全身不随の利用者（体重約63kg）の両脇を抱え、便座へ移乗していた時、急に利用者の脚が屈曲し、全体重が被災者に負荷され、腰部を負傷した。当日より、市販の痛み止めや湿布で処置していたが、その後症状が悪化し、体動が出来なくなり、救急にて病院を受診した。	59	130101	50～ 99
11	9～ 10	訪問先で作業をしている間に腰が痛み受診後腰椎圧迫骨折と診断される。訪問先利用者は立位がとれない寝たきり状態で排泄、更衣、シーツ交換を行う作業。	70	130201	50～ 99
11	2～3	老人ホームの夜勤巡回中、車椅子常用の入居者が、ベッドからずり落ち、ベッドを背にした状態で床に座り込んでおり興奮状態だったため、急いで床からベッドの上まで移乗させようと試みた際、腰に痛みと違和感を感じた。このまま1人での移乗は難しいと思い2階職員へ応援要請を行い、2階の職員が入居者を抱きかかえる介助を行うと同時に受傷者が車椅子を差し込む介助を行い、この時は腰への負担はなかった。入居者は日勤帯は2人で介助対応する体格の良い人で、夜勤1人勤務の際は他階職員の応援要請をすべきところ、急いで対応しようと1人で試みたので腰への受傷となった。	53	130201	50～ 99
11	14～ 15	植栽を行うため床掘削の作業中、スコップで土を抱えながら体勢をひねった時に、手術を行ったことのある右半月板付近に違和感を感じた。	34	30199	1～9
		利用者様が起きて来られず、様子見に訪室すると「車椅子に乗せて下さ			

11	8~9	い」と言われた為、排泄処理後、同僚介護職員を呼び二人介助にて車椅子移乗を行う。移乗前、車椅子が患側側に置かれていたので、健側側に移動していいか本人に伺ってみるが、普段より自立移乗で馴染んでおり、「そこでいいです」と強い口調で主張された為、その位置での移乗となる。利用者様を抱き上げた際、健側側の手で柵を強く握り、声かけしても放そうとされず引き合いになった際に首をひねり、当日は帰宅しても何の痛みもなかったが、翌日、首から肩にかけ痛みがあり、翌々日には痛みが強くなり、病院を受診した。	58	130201	10~ 29
12	5~6	雪によりETCレーンのセンサー異常が発生したため、ETCレーンにてセンサー周りの除雪作業を行っている際、立ったり、屈んだりを繰り返しているうちに腰痛を発症したものである。	38	170209	10~ 29
12	17~18	事業場と同一建物1階に所在する有料老人ホームで、ベッドで横たわる入居者の体位交換を行う際、入居者の体を両手で抱え上げようとしたところ、右肩に激痛が出現し、その後も痛みが持続した。	57	130201	10~ 29
12	10~11	グループホームにおいて、認知症入居者のトイレ介助中に、お尻を拭こうとして手を伸ばした際、腰に負担がかかり、激痛により、立ち上がり困難となった。	41	130101	500~ 999
12	18~19	夕食の時間になったので、部屋で横になっている利用者の上体をかかえて起こし、車椅子に移乗したところ、腰が痛くなった。	32	130201	50~ 99
12	17~18	乗務員用座席に着席中、ビジネスクラス最後列座席裏に収納していたアメニティーが離陸滑走の反動で滑り出てきたため、左に体を捻りながら拾った。事象発生直後や乗務中は痛みや異変はなかったが、宿泊先ホテルに到着し約14時間経過後、背骨の中央下部あたりに何かが刺さるような痛みが生じた。一時的な痛みであると自己判断し、復路便も乗務した。2日間様子を見たが、痛みが治まらなかったため整形外科にて受診した。	24	40103	1000 ~ 9999
		就業先の利用者居室にて、利用者を食堂へ連れて行くためベットから車椅子へ移動しようとしたところ、利用者が急に仰け反ったため腰に激痛			100~

12	18~19	が起こった。激痛が起こった後、めまいがし動けなくなってしまい、その後腰の痛みが強くなった。	53	170101	299
12	18~19	入居者の居室にて、入居者をリビングへ連れて行くために、ベッドから車椅子へ移乗しようとしたところ、利用者が突然のけぞったため、腰に負荷がかかり、激痛を感じた。直後は腰の痛みのため動けなくなってしまった。	53	130201	50~ 99
12	10~11	勤務先施設内で、経管栄養をする為、ベット上の利用者の姿勢を直そうと利用者の頭部側より両脇に腕を入れ、持ち上げた際に痛みが出た。	52	170101	30~ 49
12	10~11	入浴介助の際、利用者の衣服を脱がそうと脇の下を前からかかえて立たせたが、利用者の足が崩れ倒れそうになったので持ち上げて支えた。その時に腰に痛みが走った。他の職員が利用者のおしりを後から足で支え、なんとか介助した。	53	130201	100~ 299
12	15~16	一般住宅のリビングにおいて商談のため約1時間正座をしていた。立ち上がろうとした際、足がしびれ左足を内反捻挫した。	41	80204	30~ 49
12	17~18	鮮魚対面バックルームで、キャリーに乗せて売場より下げてきた氷の入ったバツカン、中腰で持ち上げて氷を捨てようとして、腰痛になった。	20	80201	300~ 499
12	16~17	ヤードにて、ユニットハウスの点検表を記入している際に、隣で別の人がハウスを洗っていた水が自分にかかりそうになったので、避けようと咄嗟に後ろにステップしたとき、ふくらはぎに痛みがはしった。	43	80409	10~ 29
12	17~18	利用者を車椅子からベッドに移乗し、枕の位置まで移動させた際に左ふくらはぎに激痛が生じた。	51	130201	10~ 29
12	10~11	病院のリハビリテーション室で、リハビリテーション施術中の患者を車椅子からリハビリベッドへ移乗しようとした際、腰部に痛みを感じた。その後、体勢を前に屈める際や歩行時に、腰部の痛みや左踵部の痺れを認めるようになった。	25	130101	100~ 299
		ピザを製造する一連の作業で、通常（100枚）の6倍以上の量を一人で			

12	15~16	作成することを強いられ、右手を酷使した。痛みを我慢しながら8時間作業し、激しい痛みと痺れが治まらず、病院を受診したところ、右上腕骨外側上顆炎と診断された。	54	80209	500~ 999
12	11~12	3階風呂場の外廊下で、他のスタッフが患者をストレッチャーから車椅子に乗せようとしていた。患者が立とうとしたときに上手く立てなかったため、介助しようとして患者の腰を持ったところ、姿勢が悪かったのか左腰がグギッとなった。	38	130101	300~ 499
12	9~10	利用者宅に迎えに行き、出掛ける用意を済ませ、玄関までの廊下で利用者を後ろから支えていた被災者は、ドシンと尻もちをつき座り込んでしまった。利用者の左足が玄関マットで横滑りし、頭の方から倒れそうになったので、被災者が利用者の腰の辺りを持ったと同時に、体重が被災者の方にかかり、抱えた反動でそうなったものである。30分程動けなかったが、車で施設まで送り業務を終えたのち、痛みが出てきた。	65	130201	30~ 49
12	13~14	デイサービス（定員18人程度）で、毎日高齢者の移乗等を繰り返し、腰に負担がかかったため発病したと思われる。	54	130201	30~ 49
12	15~16	居室ベッドに寝ている利用者に移乗する際、利用者がベッドの下の方に寝ていたため、ベッドの上の方へ移乗させようと足を踏ん張ったとき、左足脛に激痛がはしった。	42	130201	50~ 99
12	15~16	居室ベッドに寝ている利用者に移乗する際、利用者がベッドの下の方に寝ていたため、ベッドの上の方へ移乗させようと足を踏ん張ったとき、左足脛に激痛がはしった。	42	170101	50~ 99
12	10~11	浴室にて立位困難である利用者の入浴後、入浴介助車椅子より本人使用の車椅子への移乗時、転倒防止のため支えて介助中に、腰を捻り負傷した。翌日より疼痛がひどくなり、歩行困難な状態となった。	46	130201	10~ 29
12	16~17	血液浄化療法室にて、全介助の患者が透析治療を終了したため、電動ベッドにて腰を起こし、ベッドサイドに座位をとってもらい、1人の看護師が車椅子に固定し、本人が両脇に腕を入れて患者を立たせ、車椅子へ移動をしたとき、左腰部を痛めた。	54	130101	100~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html